

2005年 I C P 地域別要約：サハラ以南アフリカ

概観

アフリカ開発銀行が調整を図ったアフリカ地域 I C P には 48 カ国が参加した。エジプト、モロッコ、チュニジアに加え、45 カ国がサハラ以南アフリカの国々であった。このプログラムは P P P 提供の点のみならず、国民経済計算データの改善においても利益をもたらした。各国統計局はプログラム遂行過程で開催された数多くのワークショップにおいて研修と情報共有の恩恵を受け、現在、これらの取り組みを統計改善に広げる地域計画が企画されている。

以下に示す地域数値はすべて、2005 年の国際比較プログラムに参加した国だけを含んでいる。

経済規模

世界経済に占めるサハラ以南アフリカの割合は、市場為替レートを用いて米ドルに換算した G D P に基づくと 1.5% であるのに対し、P P P に基づく G D P 数値で見ると 2.4% となる。最大の経済は南アフリカとナイジェリアであり、サハラ以南アフリカの G D P の半分近く、人口の約 4 分の 1 を占める。南アフリカの G D P はこれまで推計されていたものよりも 1,270 億ドル、24% 低い。多くの国で、新しく測定された P P P に基づく G D P は過去の推計とかなり異なっている。P P P に基づく数値によって G D P が上方改訂されたのが 13 カ国、下方改訂されたのが 33 カ国に及ぶ。G D P の改訂幅は、コンゴの 139% 増からジンバブエの 77% 減に至る。24 のアフリカ諸国が今回初めて I C P に参加したことは留意すべきである。これらの国の過去の P P P 推計値は、今回より信頼が置けないモデル化法に基づいていた。

上方改訂が最も大きい国々

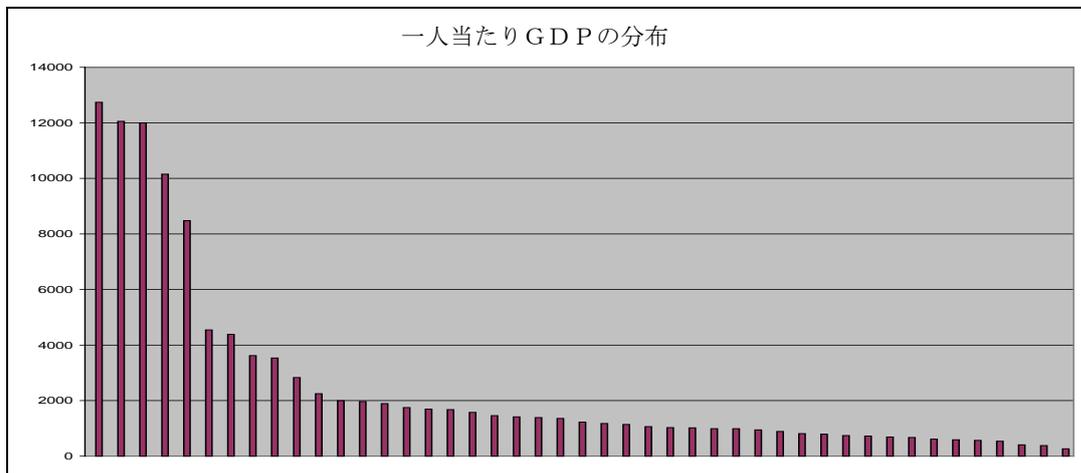
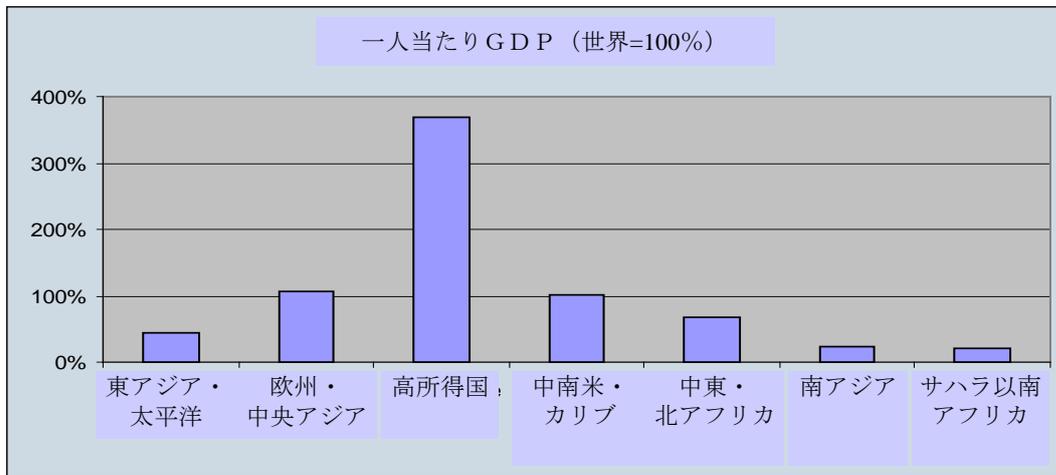
PPP に基づく 2005 年の GDP (単位：10 億ドル)			
	2005 年 ICP	過去の 推計値	差
コンゴ	12.0	5.0	139%
ガボン	17.8	9.1	96%
ナイジェリア	247.3	154.8	60%
アンゴラ	55.0	37.2	48%
赤道ギニア	12.2	8.7	40%

下方改訂が最も大きい国々

PPP に基づく 2005 年の GDP (単位：10 億ドル)			
	2005 年 ICP	過去の推 計値	差
ジンバブエ	6.2	26.9	-77%
ガンビア	1.1	2.9	-64%
コンゴ民主共和国	15.7	41.2	-62%
ギニア	8.8	21.2	-59%
レソト	2.6	6.1	-57%

生活水準

一人当たりGDPが5,000ドルを上回る国が5カ国、2,000～5,000ドルが7カ国、そして2,000ドル未満が34カ国あり、この半数が1,000ドル未満である。



一人当たりGDPが最も高い国々

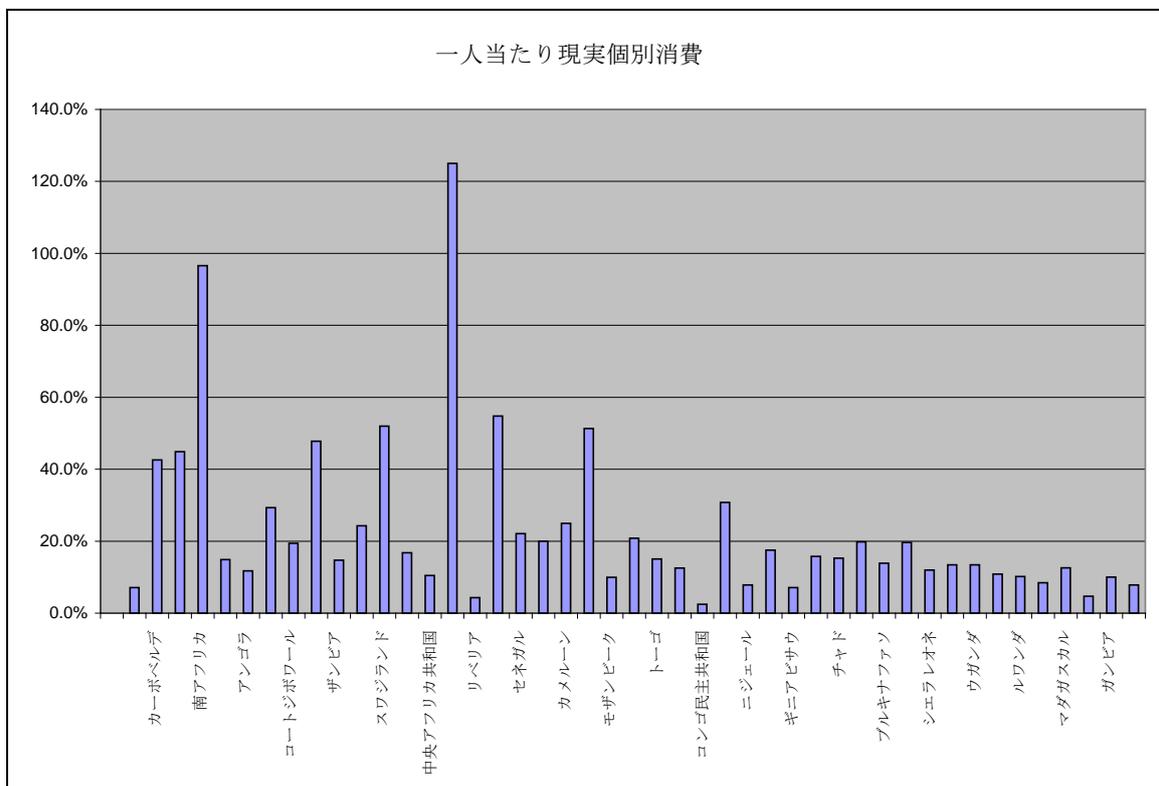
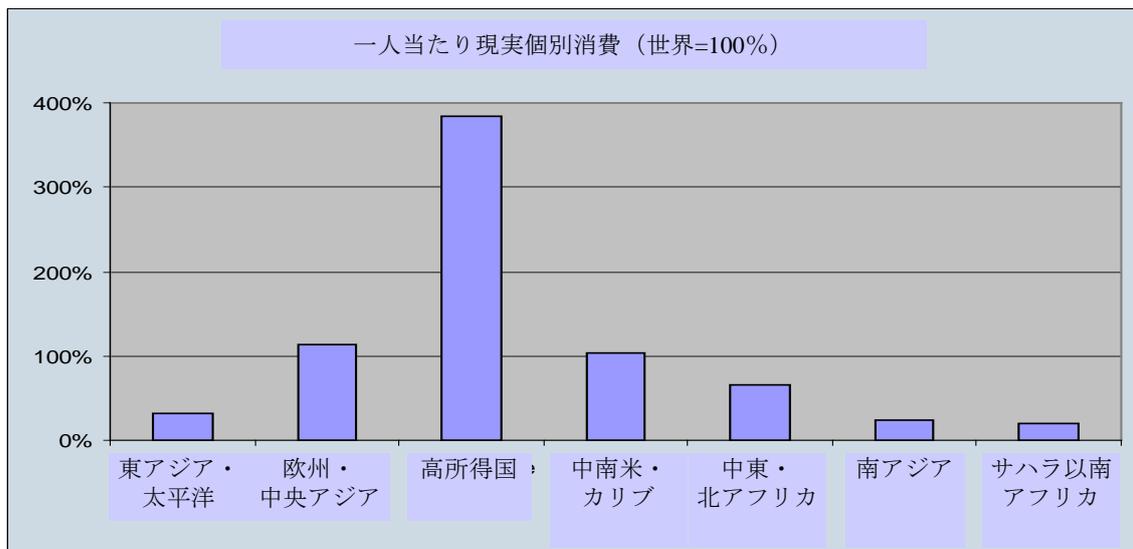
	一人当たりGDP
ガボン	12,742
ボツワナ	12,057
赤道ギニア	11,999
モーリシャス	10,155
南アフリカ	8,477

一人当たりGDPが最も低い国々

	一人当たりGDP
コンゴ民主共和国	264
リベリア	383
ブルンジ	410

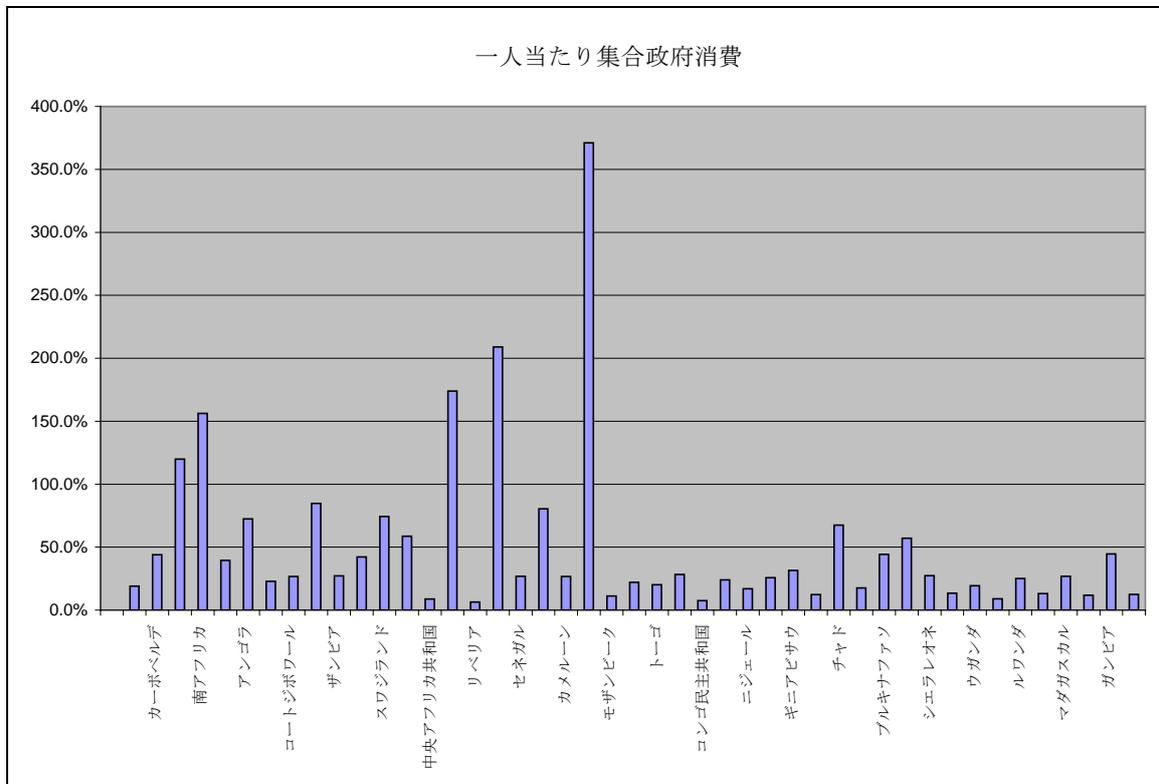
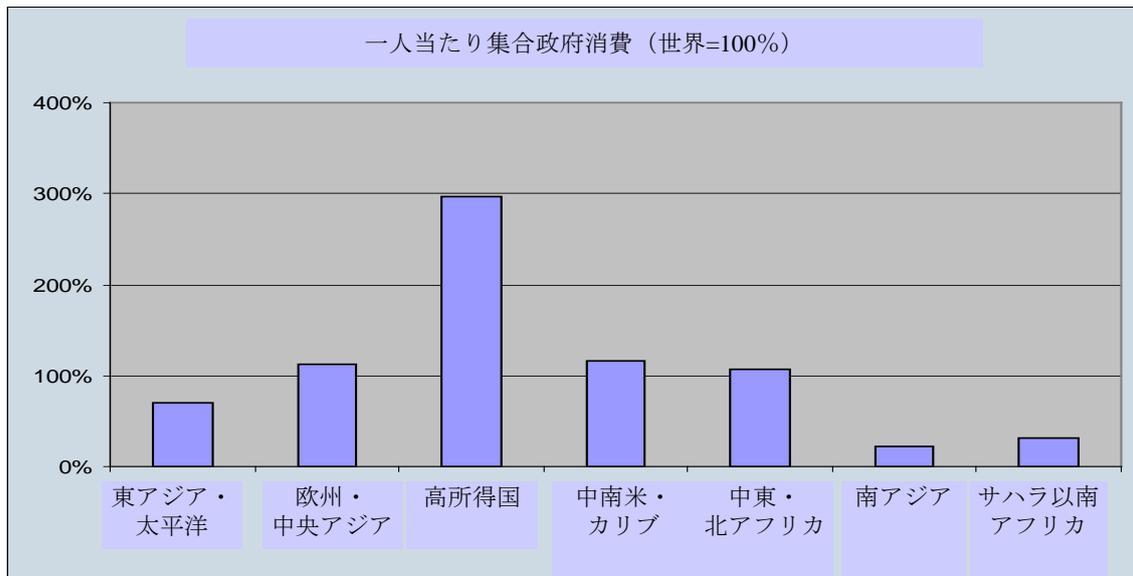
現実個別消費

現実個別消費は、家計最終消費支出、対家計非営利団体（NGOや慈善団体など）の支出、政府の個別消費財及びサービス（教育または保健など）に対する支出の合計値として測定される。サハラ以南アフリカは一人当たり現実個別消費が世界最低の地域であり、世界平均の約5分の1となっている。4分の3以上の国で、一人当たり消費が地域平均を下回っている。



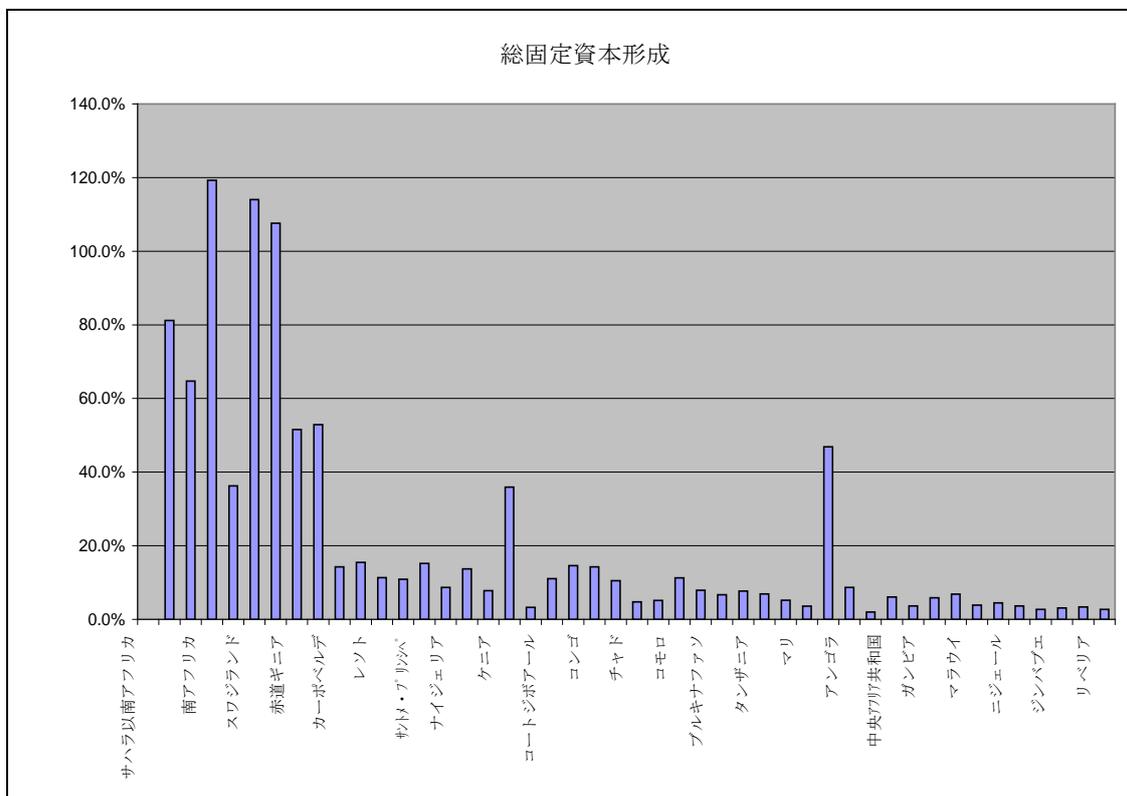
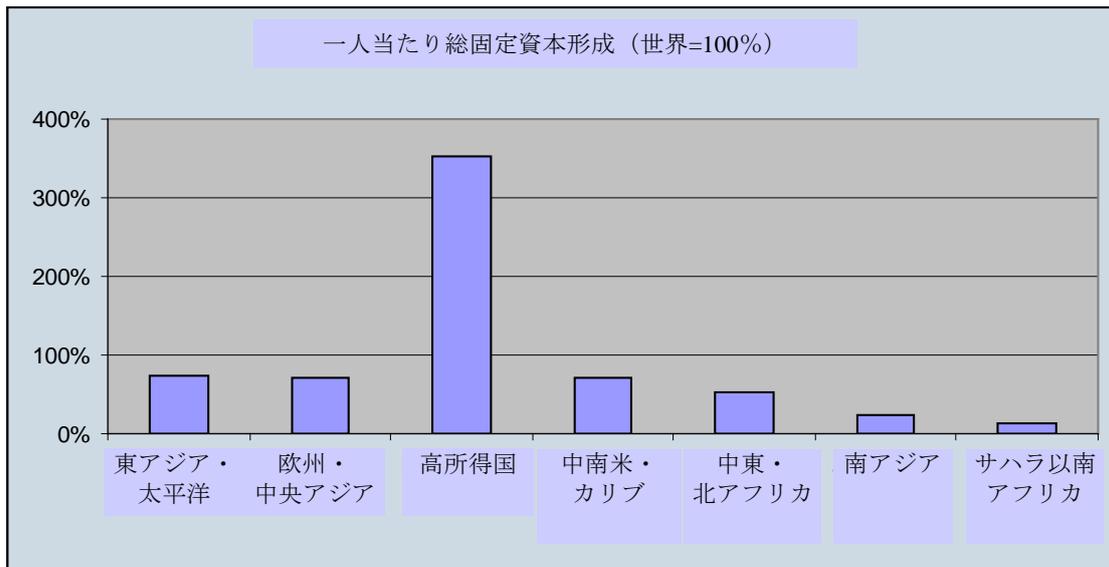
集合政府消費のPPPに基づく測定値

集合政府消費支出は国防、司法、一般行政、環境保護のような集合消費サービスに対して一般政府及び地方政府が行った支出で構成される。途上国においてこのようなサービスの価格がより低いことは、地域間における一人当たり集合政府消費の分散度を、一人当たりGDPについて観測されたものよりも小さくする傾向がある。



総固定資本形成のPPPに基づく測定値

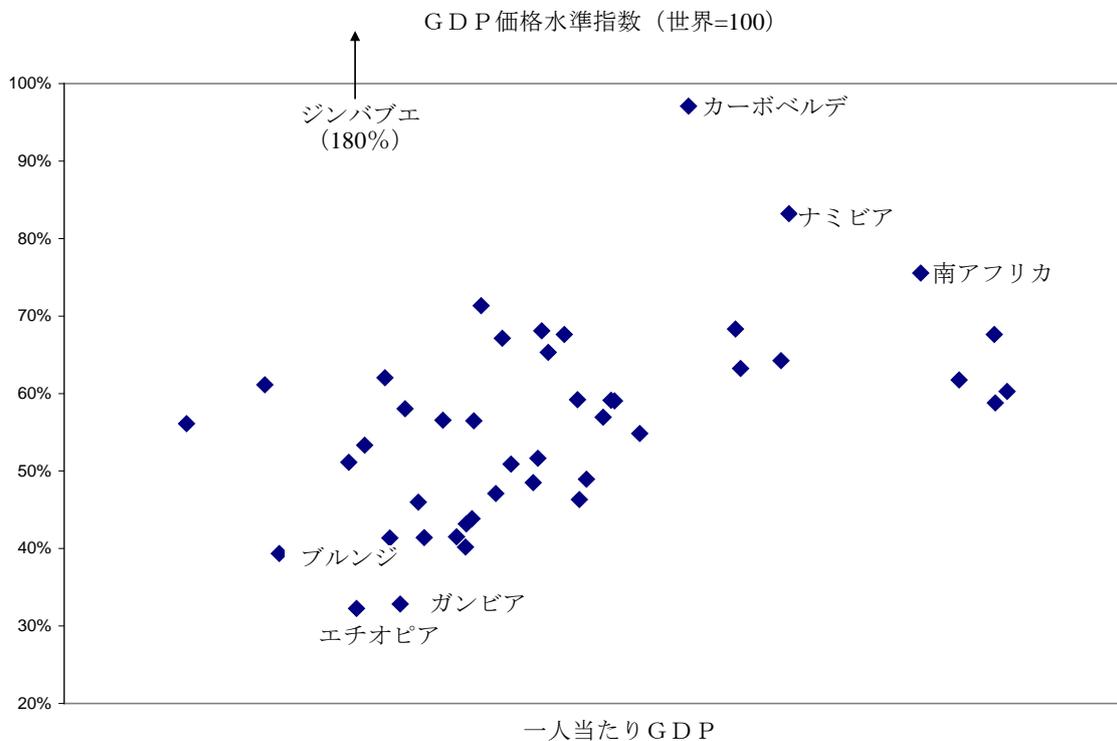
総固定資本形成は国の投資支出を測定するが、これは大部分が設備と建設サービスの購入で構成される。地域間における一人当たりGDPの分散度と比べ、一人当たり投資支出の地域間分布の格差はより小さいように見える。特に、アジア太平洋、C I S、南米、西アジア地域の間の格差は縮小する。これらの地域とOECD/ユーロスタット群の格差もまた、一人当たりGDPにおける違いに比べて縮小する。他方、国内外の投資者からの投資努力の低さと高い投資価格を反映し、アフリカははるか後方に取り残されている。ガボン、ボツワナ、赤道ギニアのようにいくつかの国の投資率は比較的高い。



価格水準指数

価格水準指数（P L I）とは、標準通貨の市場為替レートに対するPPPの比率である。P L Iは価格水準の国際比較に用いられる。P L Iは、ある国のGDP（またはその構成要素）が現行の為替レートで現地通貨を取得した後に「購入された」かのようにみなしてその相対価格を示す。一般に、最貧国のP L Iは低い。これは最貧国の財及びサービスの多く（ただし、すべてではない）が、自国の同種の生産物よりも相対的に安いことを発見する旅行者の一般的な体験を反映している。

一般に価格水準は一人当たりGDPと共に上昇する。サハラ以南アフリカではジンバブエ、カーボベルデ、ナミビア、南アフリカで価格が最も高く、エチオピア、ガンビア、ブルンジで最も低い。顕著な外れ値はジンバブエである。この価格水準指数は高インフレと、その公式為替レートと実際に国際取引が行われるレートとの不一致の影響を受けているのかもしれない。



2005年ICP地域別要約：欧州・中央アジア

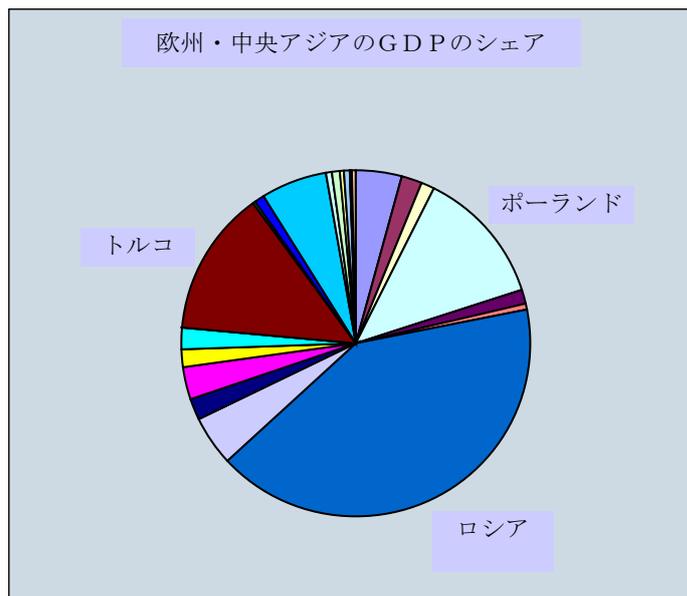
概観

欧州・中央アジア（ECA）地域からは24カ国が2005年ICPに参加した。10カ国が、独立国家共同体統計局（CISSTAT）、ロシア連邦国家統計局（ROSSTAT）、経済分析局（モスクワ）が調整を担当するCISプログラムに参加した。14カ国がユーロスタット/OECDプログラムに参加した。ロシアは両方のプログラムに参加した。

以下に示す地域のすべての数値は、2005年国際比較プログラムに参加した国だけを含む。

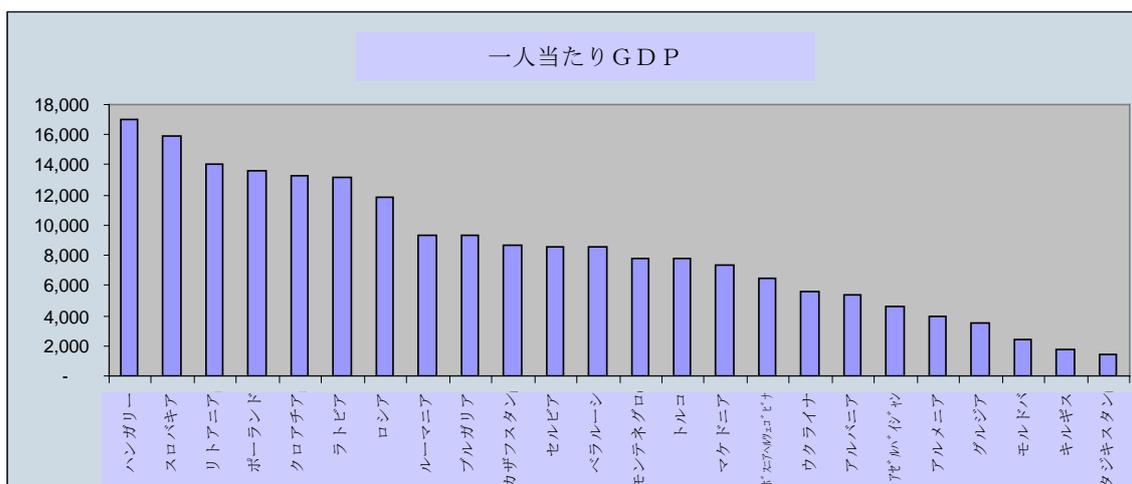
経済規模

世界経済に占める欧州・中央アジア経済の割合は、市場為替レートを用いて米ドルに換算したGDPに基づく4.6%であるのに対し、PPPに基づくGDP数値で見ると7.5%となる。地域で最大の経済はロシアであり、欧州・中央アジアのGDPの41%、その人口の3分の1を占める。



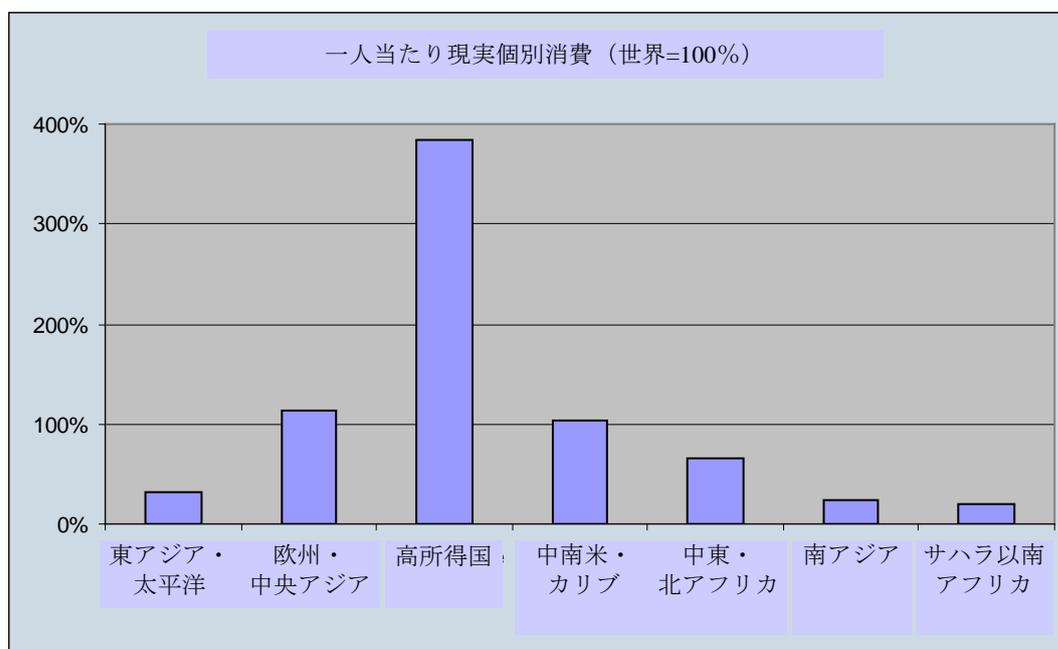
生活水準

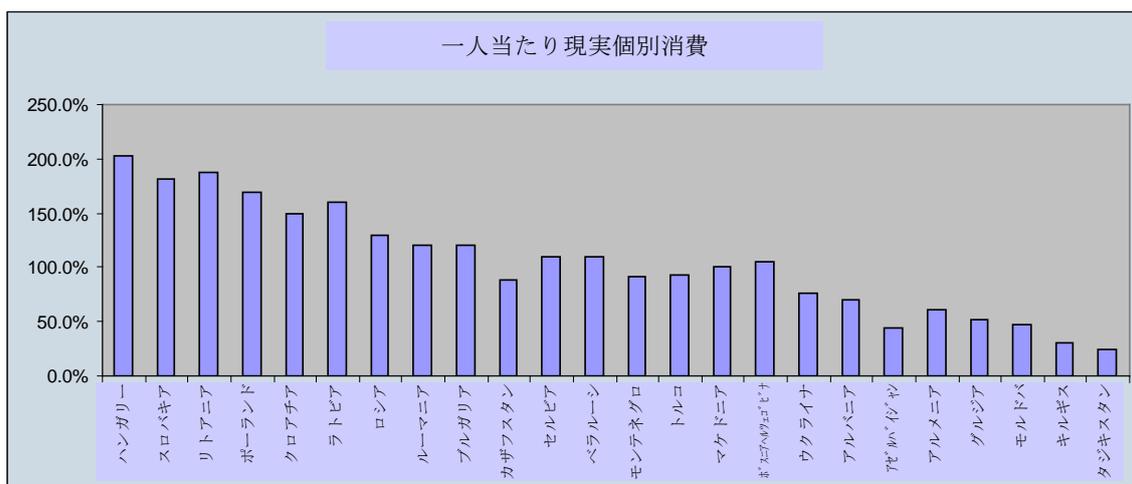
地域の一人当たりGDPはPPPに基づく9,661ドルとなる。一人当たりGDPが地域で最大なのはハンガリー、スロバキア、リトアニアであり、最も低いのはタジキスタン、キルギス共和国、モルドバである。



現実個別消費

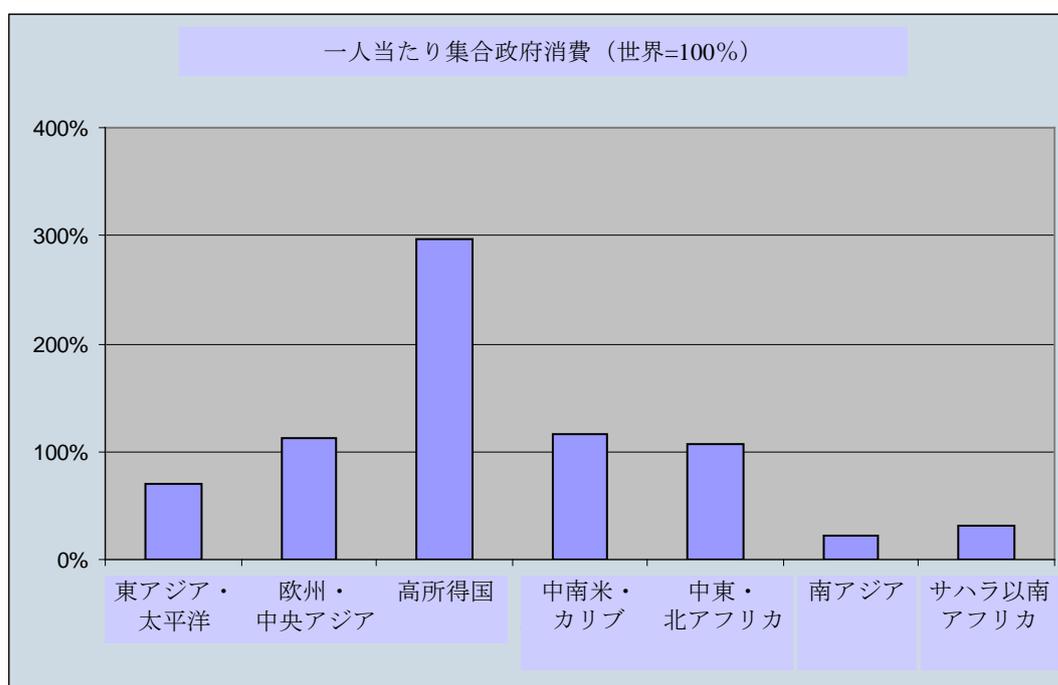
現実個別消費は、家計最終消費支出、対家計非営利団体（NGOや慈善団体など）の支出、政府の個別消費財及びサービス（教育または保健など）に対する支出の合計値として測定される。欧州・中央アジア地域で一人当たりGDP水準が世界平均を上回るのは10カ国だけであるが、現実個別消費水準が世界平均を上回る国は13カ国ある。同じことが集合政府消費についても言える。この追加的な消費水準は総固定資本形成を犠牲にして得られ、総固定資本形成の一人当たり水準が世界平均を上回るのは6カ国に過ぎない。

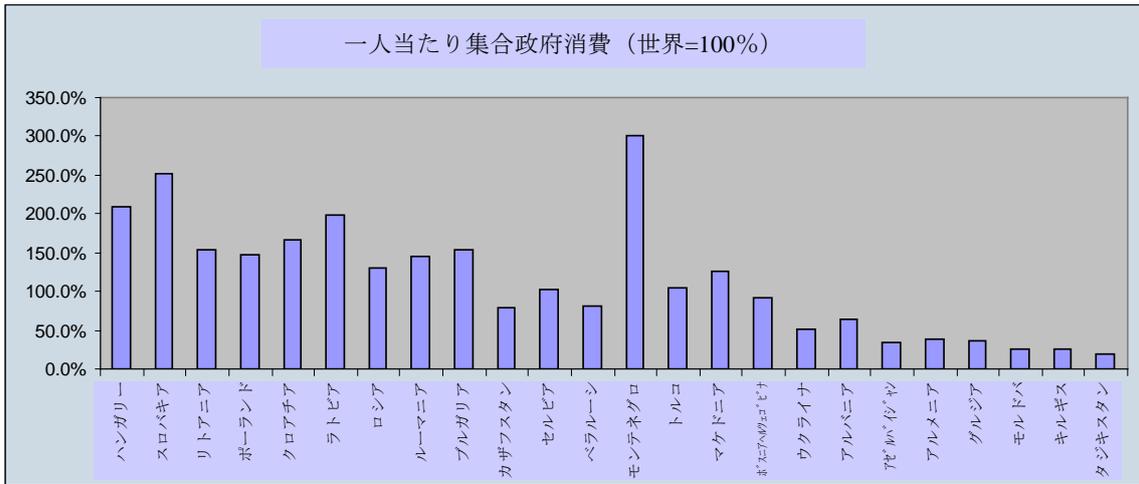




集合政府消費のPPPに基づく測定値

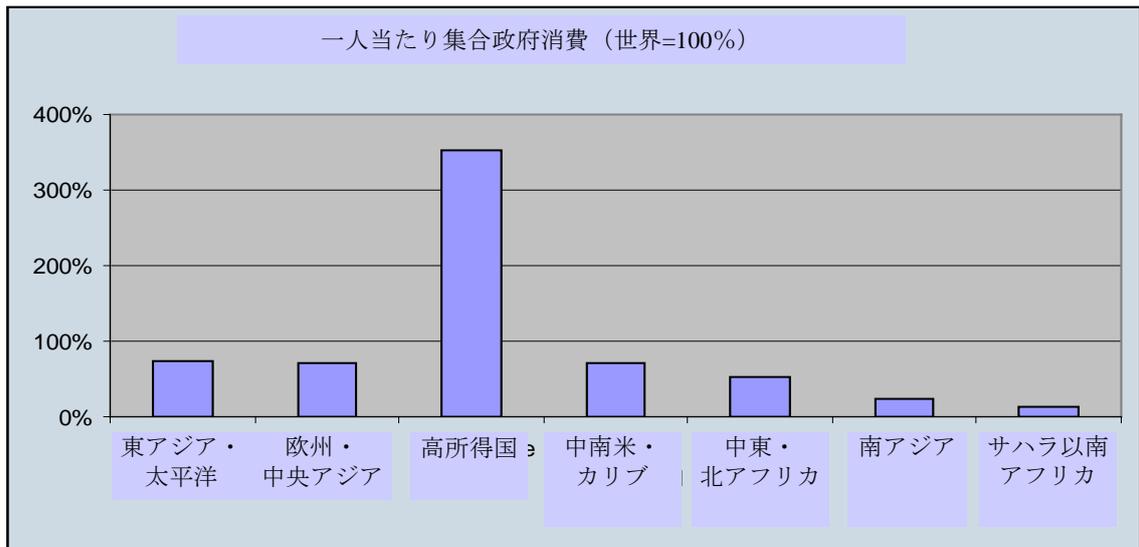
集合政府消費支出は国防、司法、一般行政、環境保護のような集合消費サービスに対して一般政府及び地方政府が行った支出で構成される。途上国においてこのようなサービスの価格がより低いことは、地域間における一人当たり集合政府消費の分散度を、一人当たりGDPについて観測されたものよりも小さくする傾向がある。

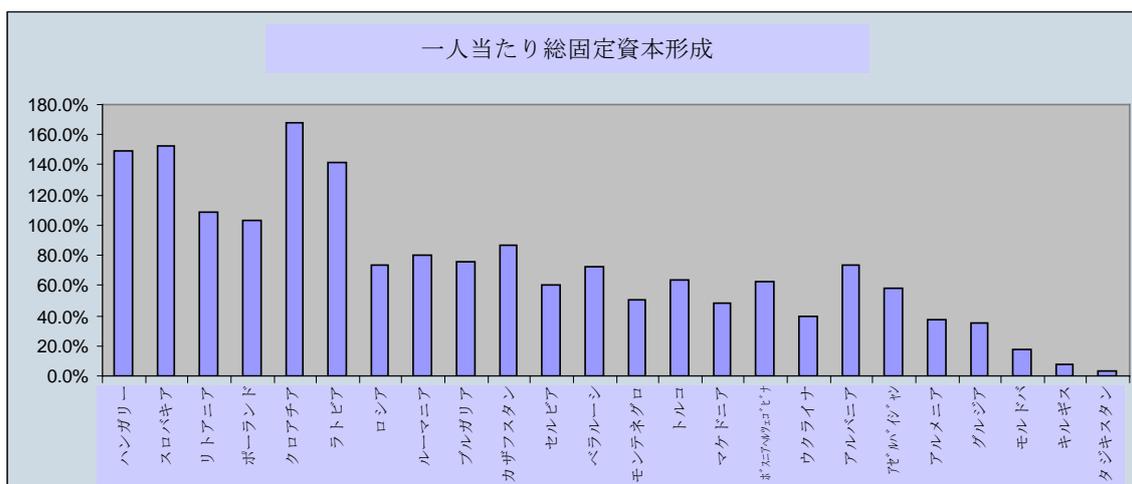




総固定資本形成のPPPに基づく測定値

総固定資本形成は国の投資支出を測定するが、これは大部分が設備と建設サービスの購入で構成される。



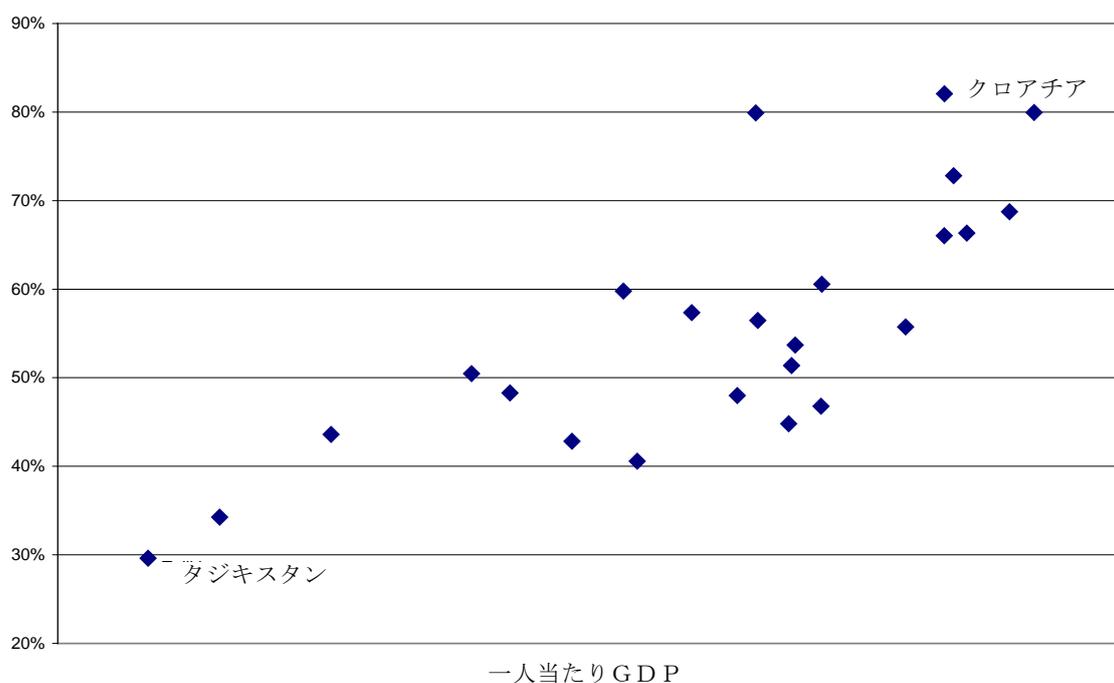


価格水準指数

価格水準指数（P L I）とは、標準通貨の市場為替レートに対するPPPの比率である。P L Iは価格水準の国際比較に用いられる。P L Iは、ある国のGDP（またはその構成要素）が現行為替レートで現地通貨を取得した後に「購入された」かのようにみなしてその相対価格を示す。一般に、最貧国のP L Iは低い。これは最貧国の財及びサービスの多く（ただし、すべてではない）が、自国の同種の生産物よりも相対的に安いことを発見する旅行者の一般的な体験を反映している。

一般に価格水準は一人当たりGDPと共に上昇する。欧州・中央アジアではクロアチアの価格水準が最も高く、タジキスタンが最も低い。

GDP 価格水準指数（世界=100）



2005年 I C P 地域別要約：中東・北アフリカ

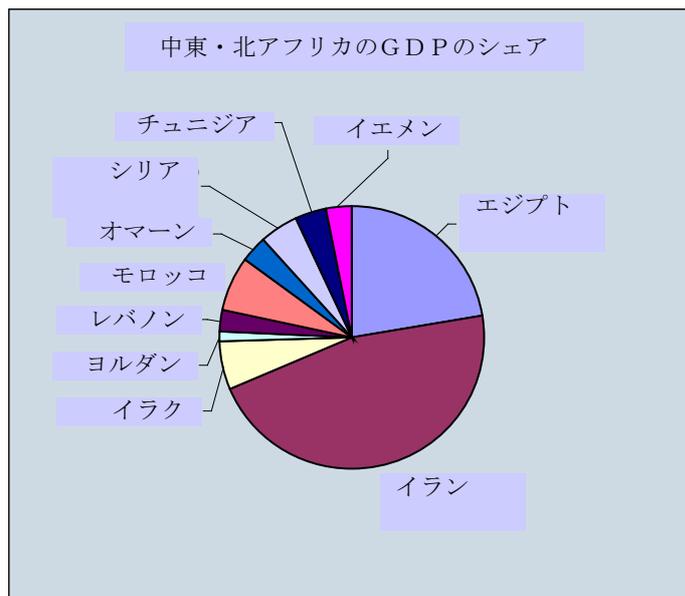
概観

2005年 I C Pには10の中東・北アフリカ（MNA）諸国が参加した。西アジア・プログラム参加国のほとんどについて西アジア経済社会委員会（E S C W A）が調整を図った。イランはアジア太平洋プログラムの一部であり、モロッコとチュニジアはアフリカのプログラムに参加した。エジプトは、西アジアとアフリカの両方のプログラムに参加した。アルジェリアとリビアは2005年 I C Pに参加しなかった。

地域のすべての数値は、2005年国際比較プログラムに参加した国だけを含む。

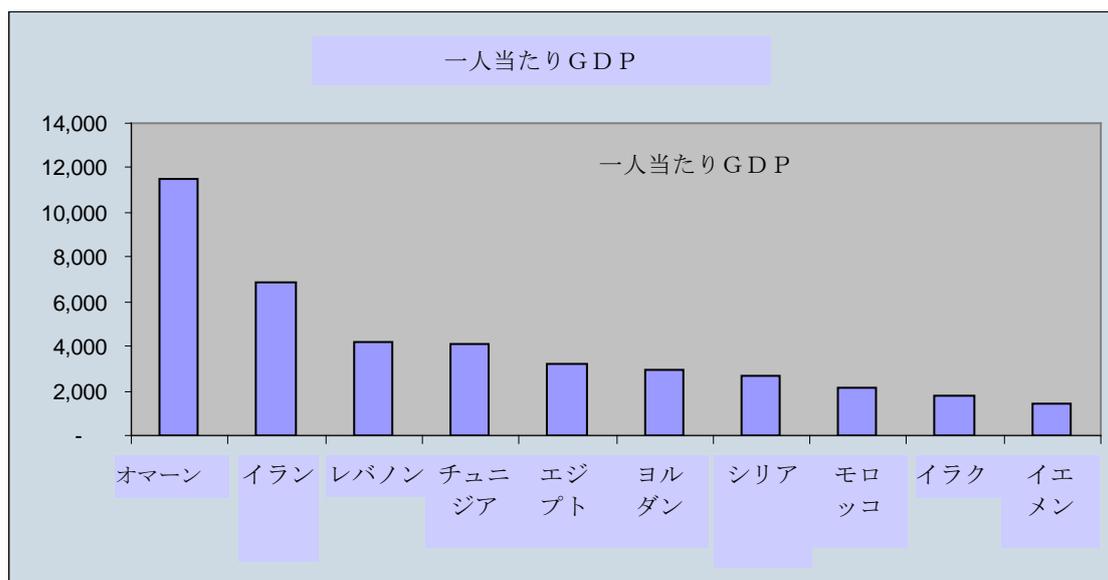
経済規模

世界経済に占める中東・北アフリカ経済の割合は、市場為替レートを用いて米ドルに換算したGDPに基づく1.2%であるのに対し、PPPに基づくGDP数値で見ると2.9%となる。地域で最大の経済はイランとエジプトであり、中東・北アフリカのGDPの約70%、人口の半分以上を占める。



生活水準

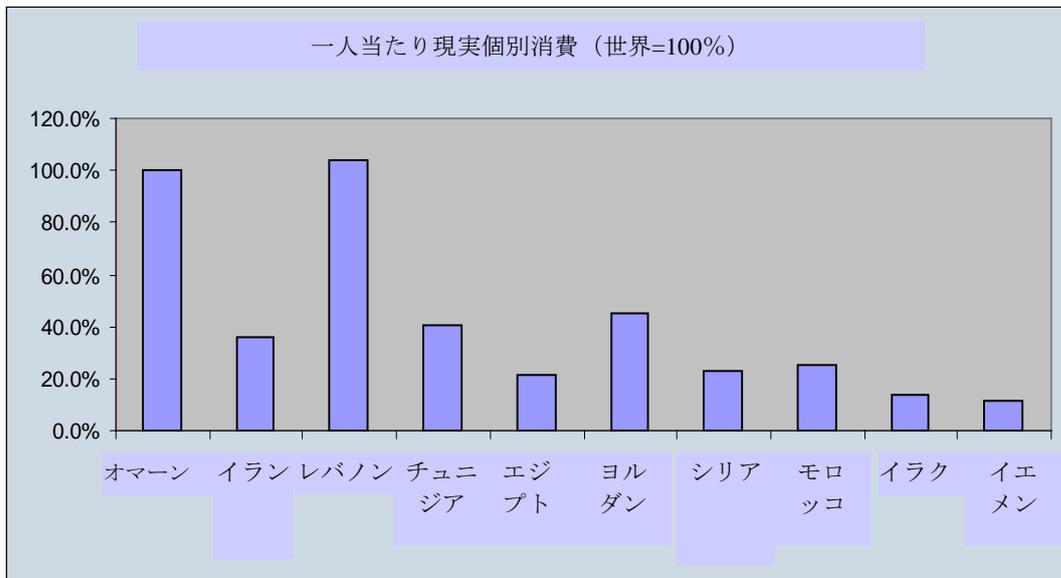
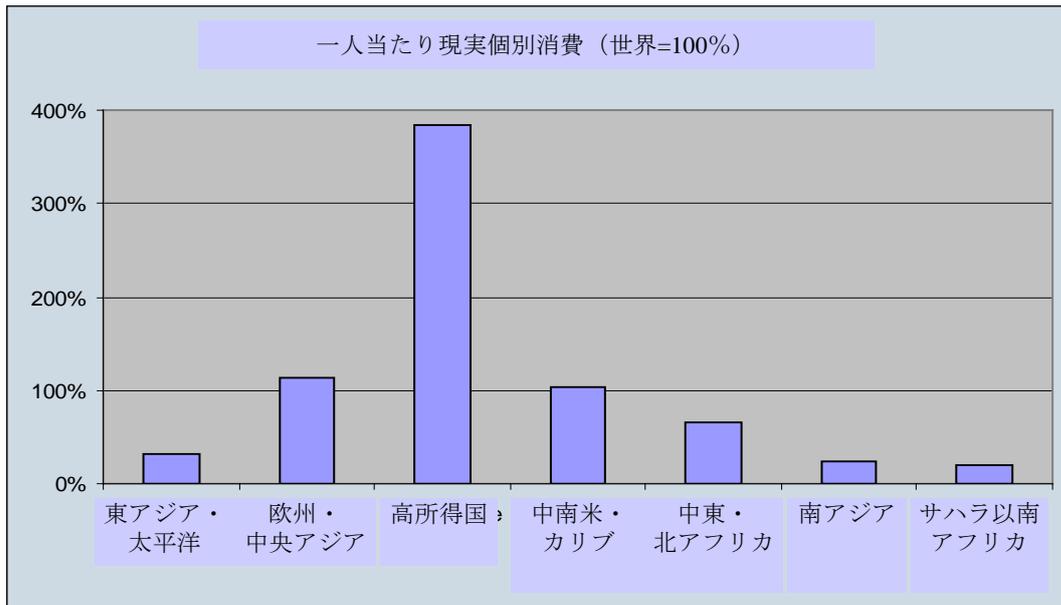
2005年の地域の一人当たり平均GDPはPPPに基づく6,150ドルとなる。これを上回るのはオマーンとイランだけである。



経済	PPP建て一人当たりGDP (ドル)
中東・北アフリカ	6,153
オマーン	11,466
イラン	6,869
レバノン	4,208
チュニジア	4,091
エジプト	3,234
ヨルダン	2,932
シリア	2,644
モロッコ	2,142
イラク	1,811
イエメン	1,453

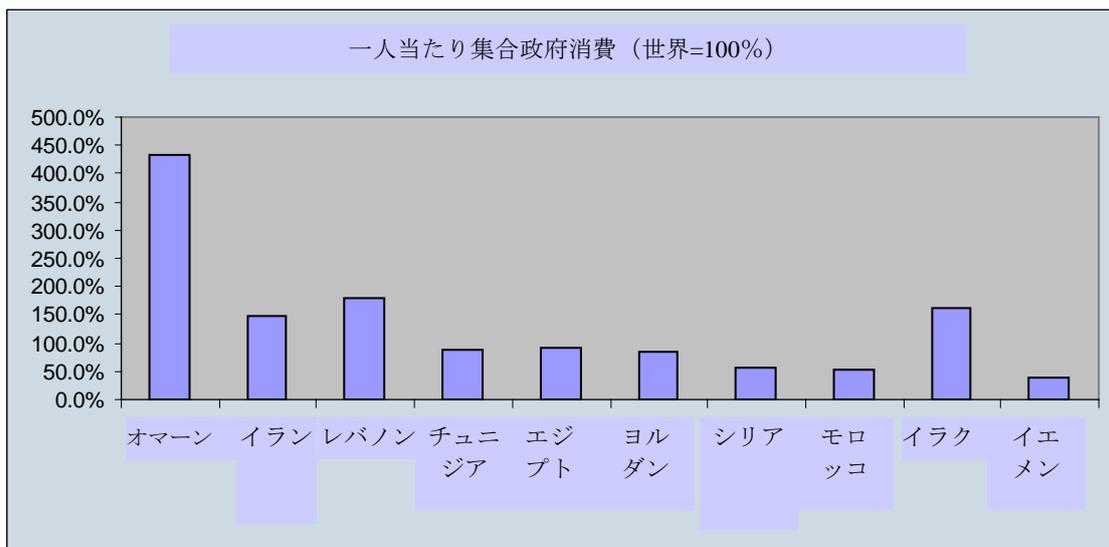
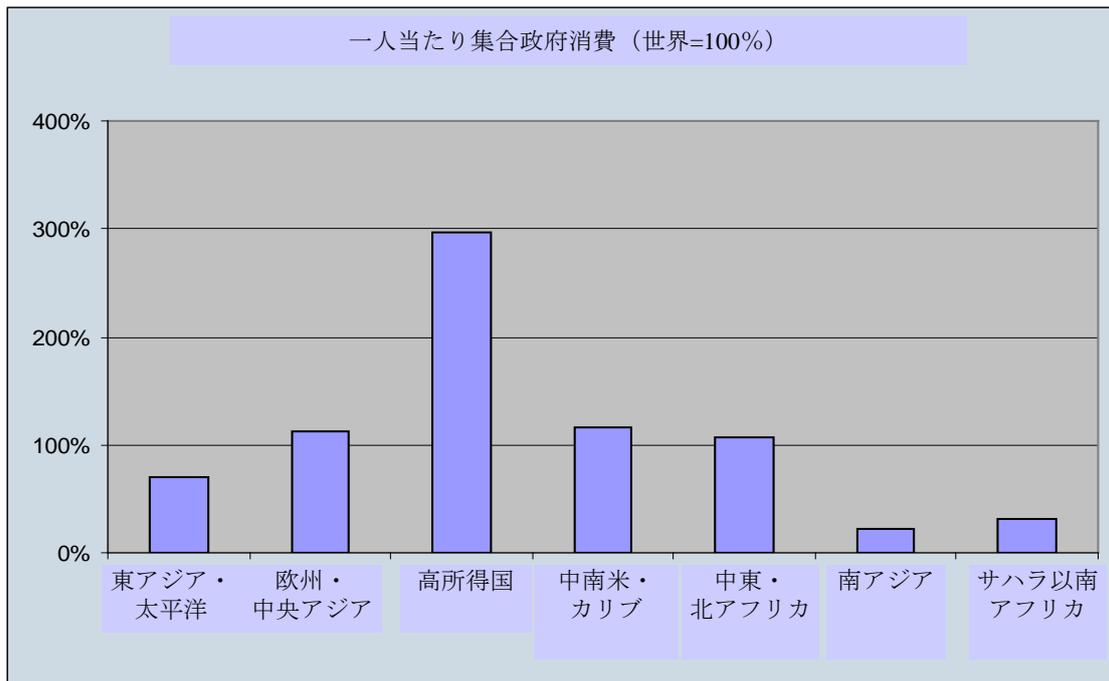
現実個別消費

現実個別消費は、家計最終消費支出、対家計非営利団体（NGOや慈善団体など）の支出、政府の個別消費財及びサービス（教育または保健など）に対する支出の合計値として測定される。オマーンとレバノンの一人当たり消費水準は世界平均を上回り、残りの国はすべて世界平均の半分を下回る。



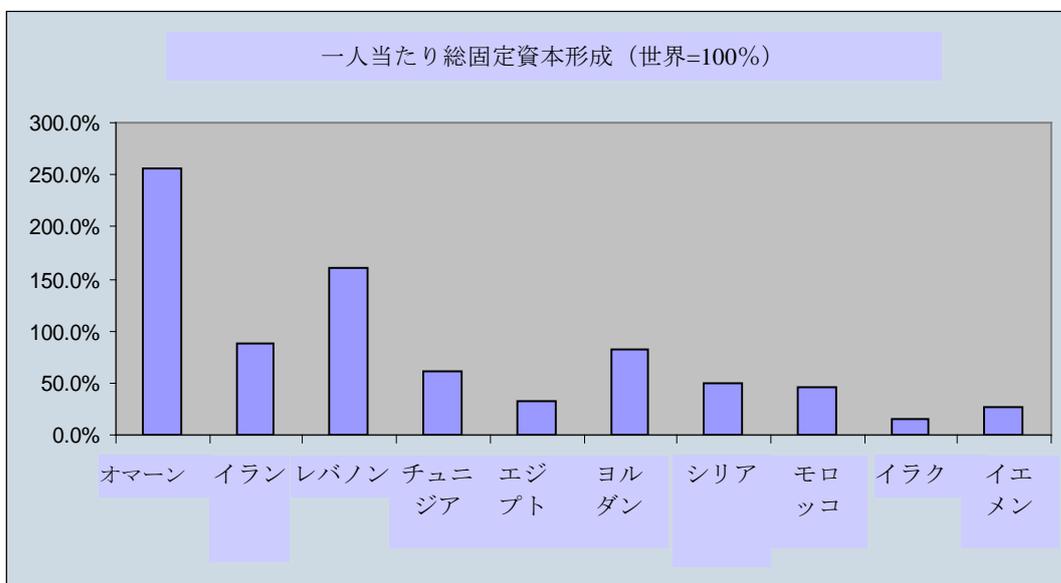
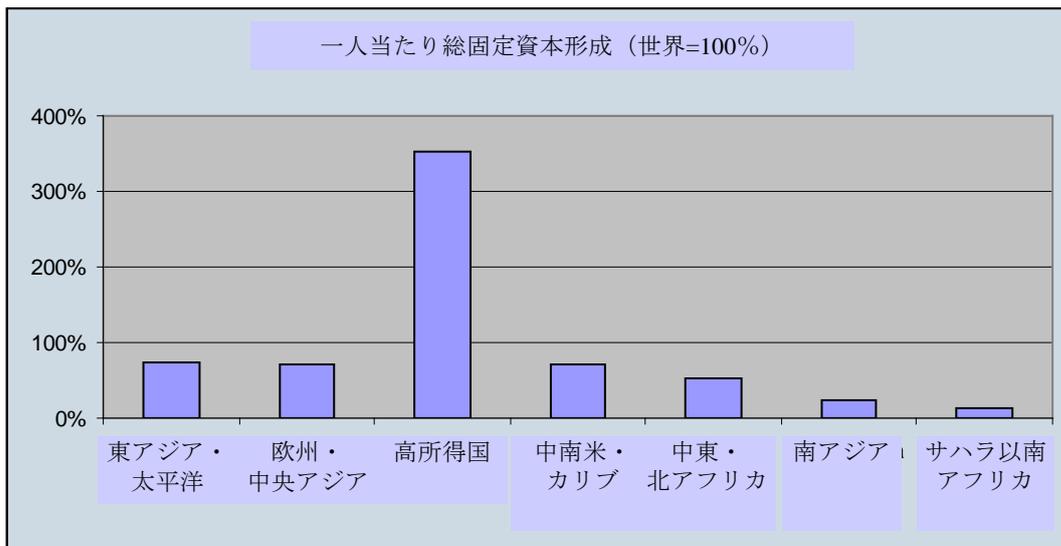
集合政府消費のPPPに基づく測定値

集合政府消費支出は国防、司法、一般行政、環境保護のような集合消費サービスに対して一般政府及び地方政府が行った支出で構成される。途上国においてこのようなサービスの価格がより低いことは、地域間における一人当たり集合政府消費の分散度を、一人当たりGDPについて観測されたものよりも小さくする傾向がある。オマーンの一人当たり集合政府消費の水準は世界平均の4倍を上回る。イラン、イラク、レバノンのすべてもまた世界平均を上回る。



総固定資本形成のPPPに基づく測定値

総固定資本形成は国の投資支出を測定するが、これは大部分が設備と建設サービスの購入で構成される。

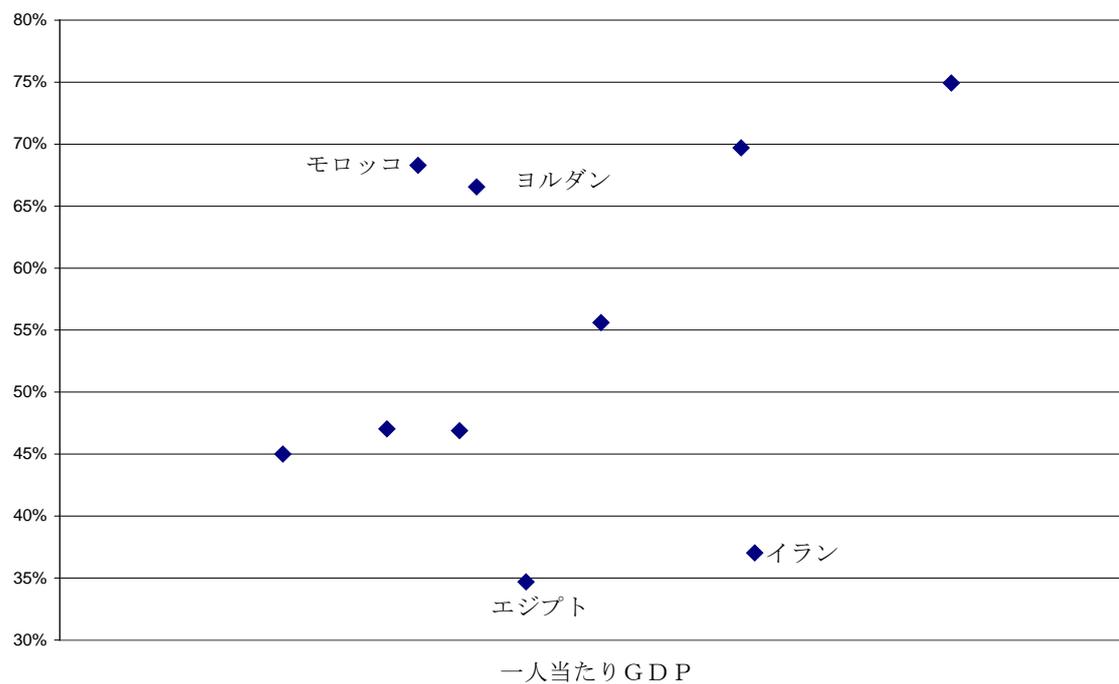


価格水準指数

価格水準指数（PLI）とは、標準通貨の市場為替レートに対するPPPの比率である。PLIは価格水準の国際比較に用いられる。PLIは、ある国のGDP（またはその構成要素）が現行為替レートで現地通貨を取得した後に「購入された」かのようにみなしてその相対価格を示す。一般に、最貧国のPLIは低い。これは最貧国の財及びサービスの多く（ただし、すべてではない）が、自国の同種の生産物よりも相対的に安いことを発見する旅行者の一般的な体験を反映している。

PLIは典型的に所得水準と共に増加する。エジプトとイランはその一人当たりGDP水準に比して財及びサービスが相対的に安いように見える。対照的に、モロッコとヨルダンは高いように見える。

GDP 価格水準指数 (世界=100)



2005年I C P地域別要約：中南米・カリブ

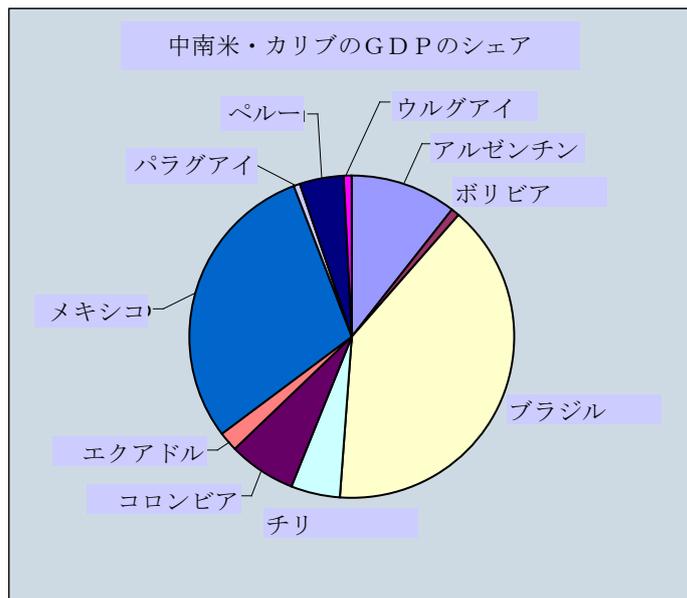
概観

中南米・カリブ（L A C）地域からは 11 カ国が 2005 年 I C P に参加した。1 カ国を除き、南米プログラムに参加したすべての国の調整は、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（E C L A C）統計部とカナダ統計局が担当した。メキシコはユーロスタット／O E C D プログラムに参加した。

以下に示す地域のすべての数値は、2005 年国際比較プログラムに参加した国だけを含む。

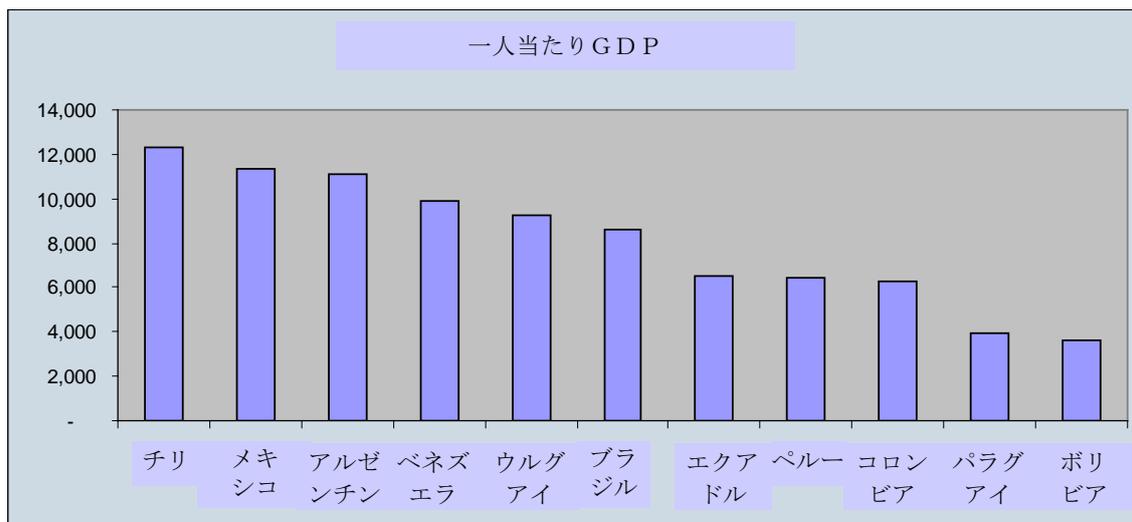
経済規模

世界経済に占める中南米・カリブ経済の割合は、市場為替レートを用いて米ドルに換算したG D Pに基づくと 5%であるのに対し、P P Pに基づくG D P数値で見ると 8%となる。地域で最大の経済はブラジルとメキシコであり、中南米・カリブのG D Pの 3 分の 2 近く、人口の 61%を占める。



生活水準

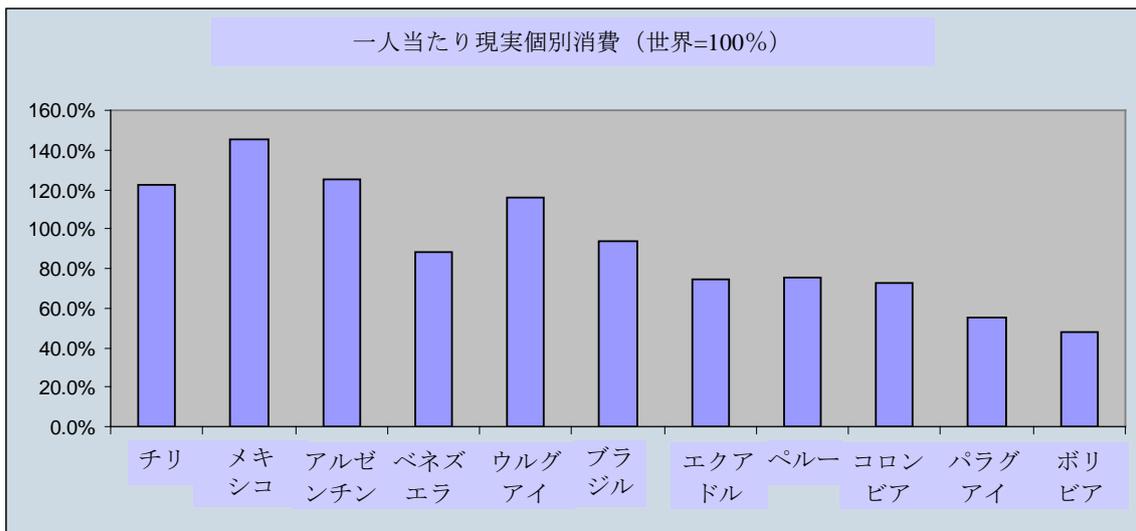
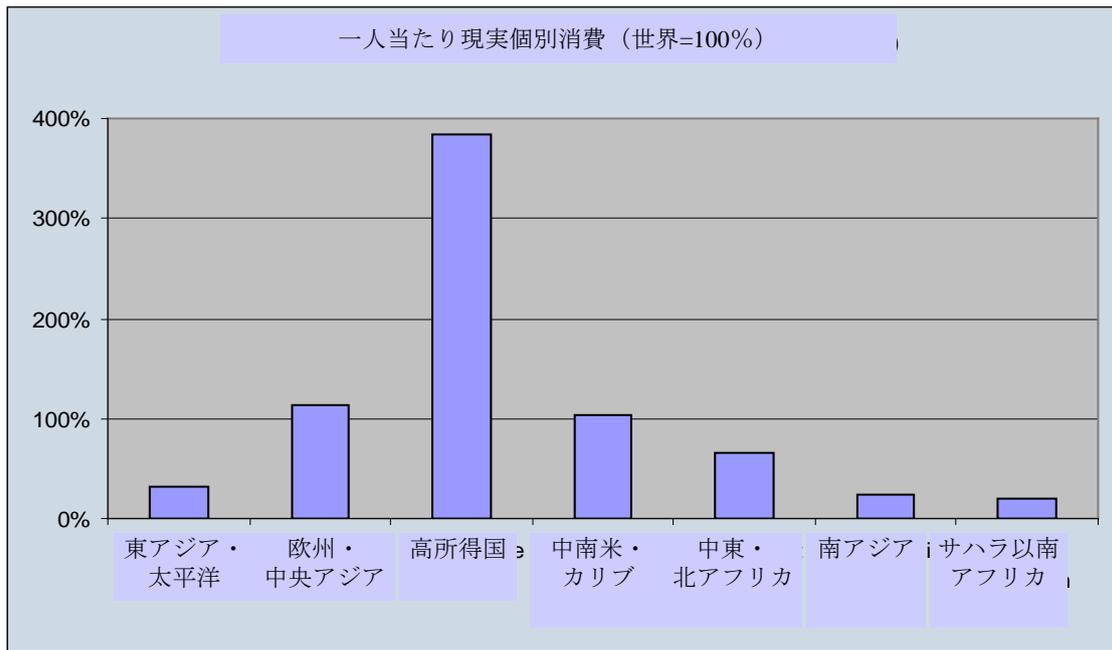
地域の一人当たり平均G D PはP P Pに基づくと 9,064 ドルとなる。一人当たりG D Pが地域で最大なのはチリ、メキシコ、アルゼンチンであり、最も低いのはパラグアイとボリビアである。



経済	PPP建て一人当たりGDP (ドル)
中南米・カリブ	9,064
チリ	12,277
メキシコ	11,317
アルゼンチン	11,076
ベネズエラ	9,888
ウルグアイ	9,277
ブラジル	8,606
エクアドル	6,541
ペルー	6,474
コロンビア	6,314
パラグアイ	3,905
ボリビア	3,623

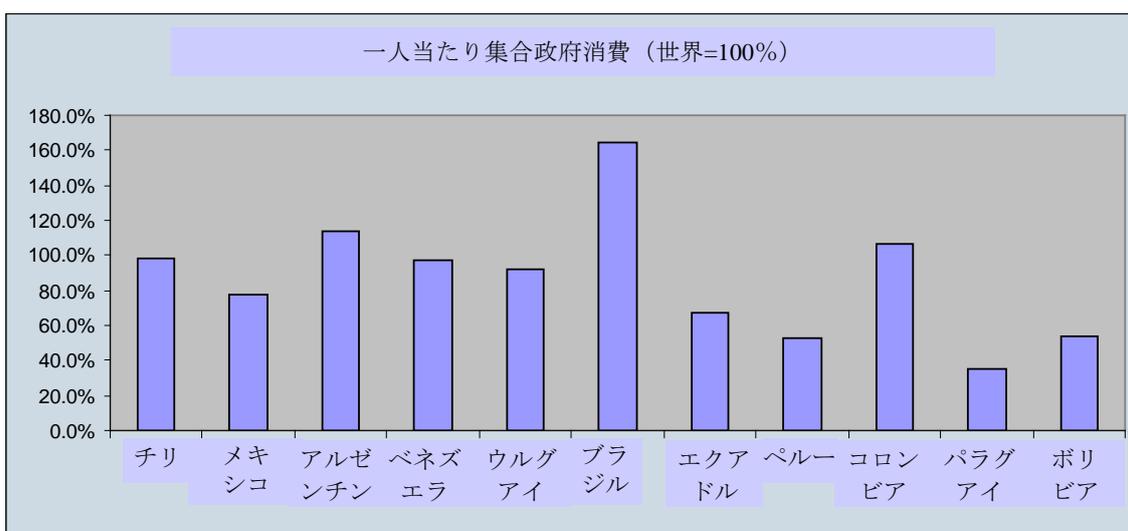
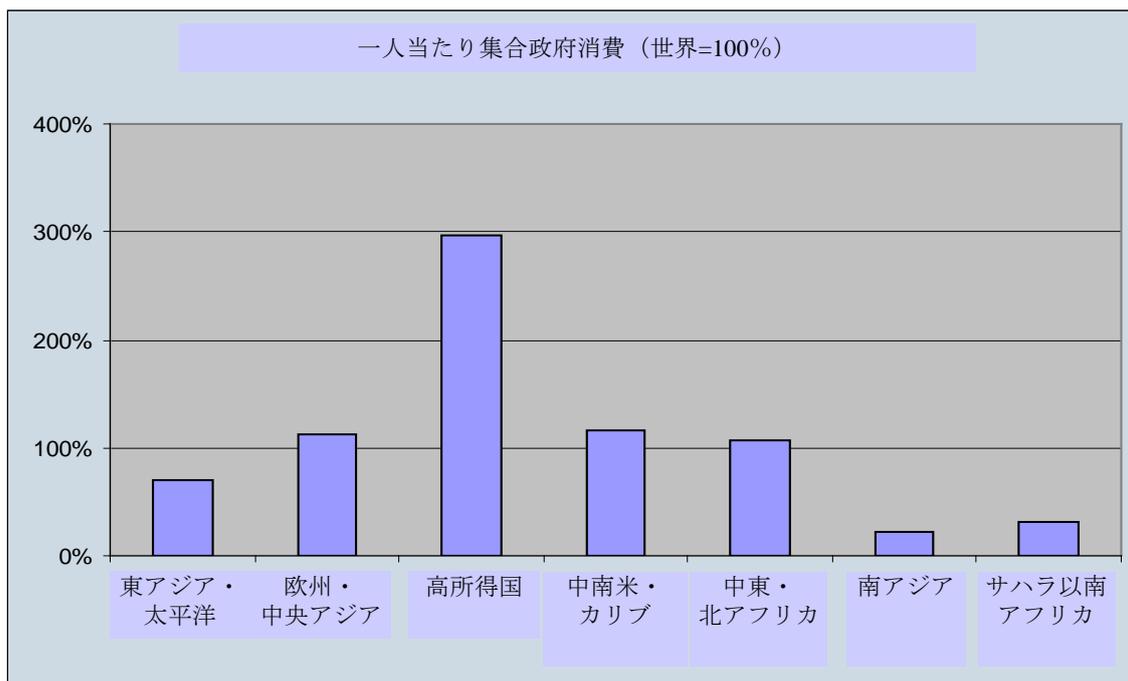
現実個別消費

現実個別消費は、家計最終消費支出、対家計非営利団体（NGOや慈善団体など）の支出、政府の個別消費財及びサービス（教育または保健など）に対する支出の合計値として測定される。中南米・カリブの現実個別消費は世界平均を上回る。各国の値は、上はメキシコの世界平均の1.5倍近くから下はボリビアの世界平均の半分未満の範囲にある。



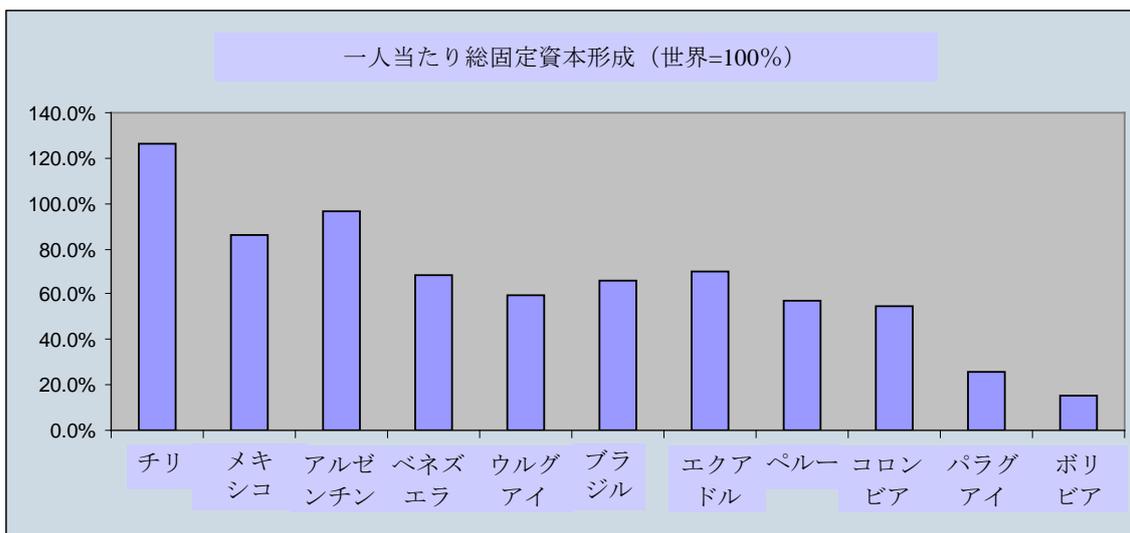
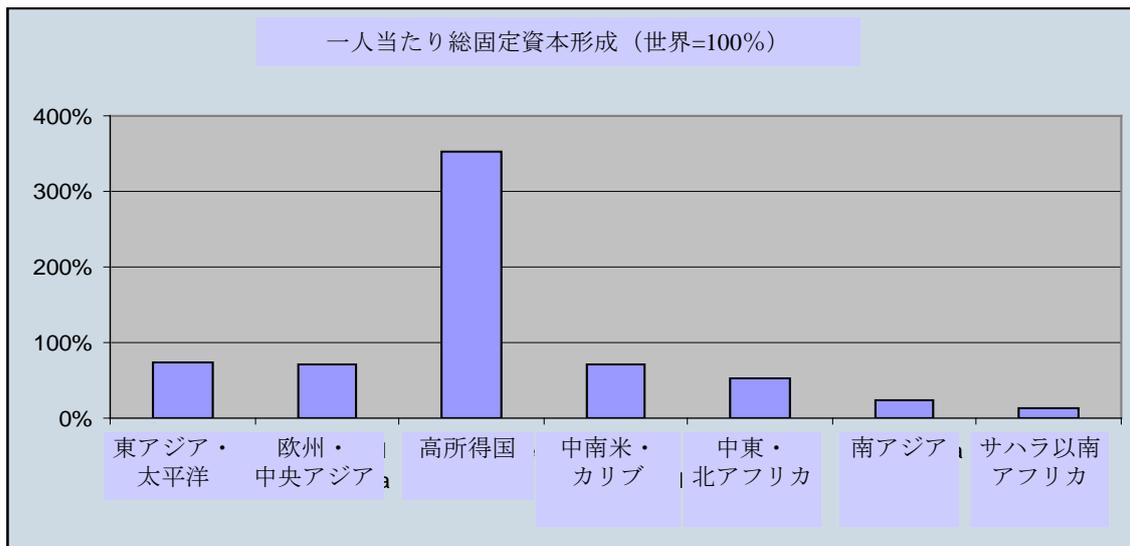
集合政府消費のPPPに基づく測定値

集合政府消費支出は国防、司法、一般行政、環境保護のような集合消費サービスに対して一般政府及び地方政府が行った支出で構成される。途上国においてこのようなサービスの価格がより低いことは、地域間における一人当たり集合政府消費の分散度を、一人当たりGDPについて観測されたものよりも小さくする傾向がある。各国の値は、上はブラジルの世界平均の1.5倍近くから下はパラグアイ、ペルー、ボリビアの世界平均の半分以下の範囲にある。



総固定資本形成のPPPに基づく測定値

総固定資本形成は国の投資支出を測定するが、これは大部分が設備と建設サービスの購入で構成される。一人当たり総固定資本形成が最大なのはチリで世界平均の125%である。ボリビアとパラグアイははるか後方にあり、それぞれ世界平均の15%と25%をわずかに上回るに過ぎない。

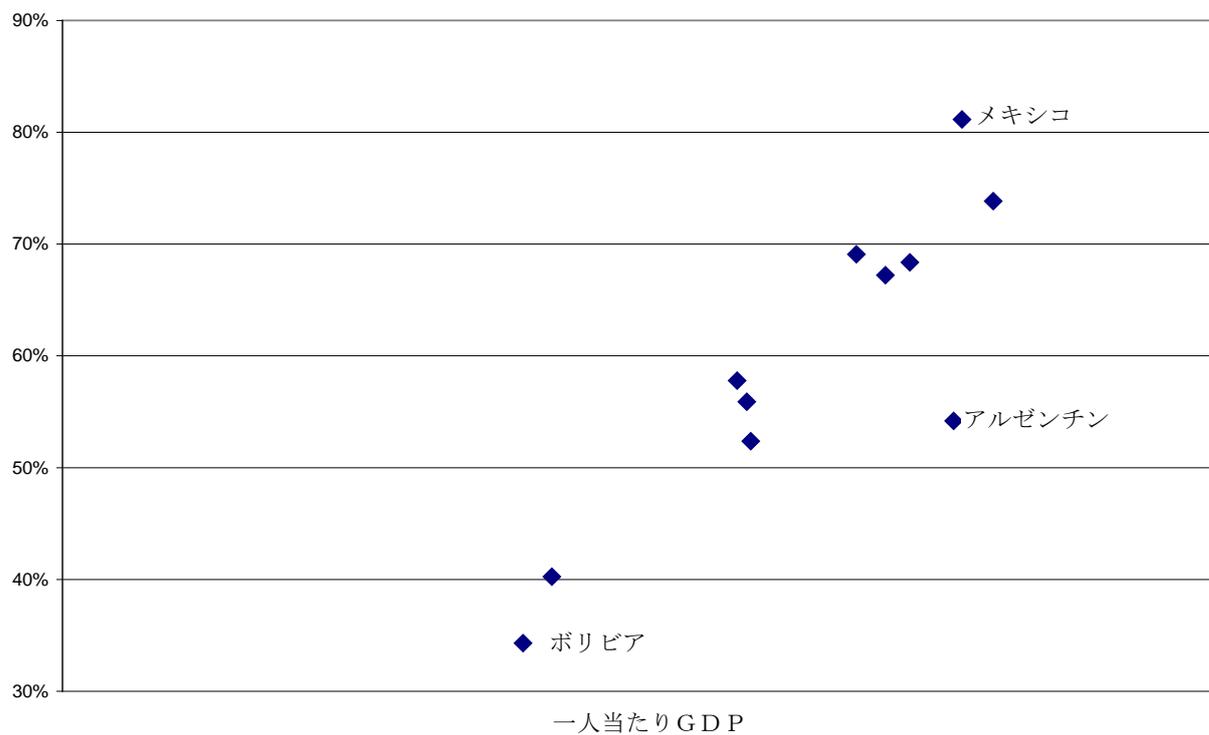


価格水準指数

価格水準指数（PLI）とは、標準通貨の市場為替レートに対するPPPの比率である。PLIは価格水準の国際比較に用いられる。PLIは、ある国のGDP（またはその構成要素）が現行為替レートで現地通貨を取得した後に「購入された」かのようにみなしてその相対価格を示す。一般に、最貧国のPLIは低い。これは最貧国の財及びサービスの多く（ただし、すべてではない）が、自国の同種の生産物よりも相対的に安いことを発見する旅行者の一般的な体験を反映している。

一般に価格水準は一人当たりGDPと共に上昇する。中南米・カリブではメキシコの財及びサービスが最も高く、ボリビアが最も低い。アルゼンチンの一人当たりGDPはメキシコと同じような値であるが、財及びサービスの価格はメキシコより安い。

GDP 価格水準指数 (世界=100)



2005 年 I C P 地域別要約：東アジア・太平洋

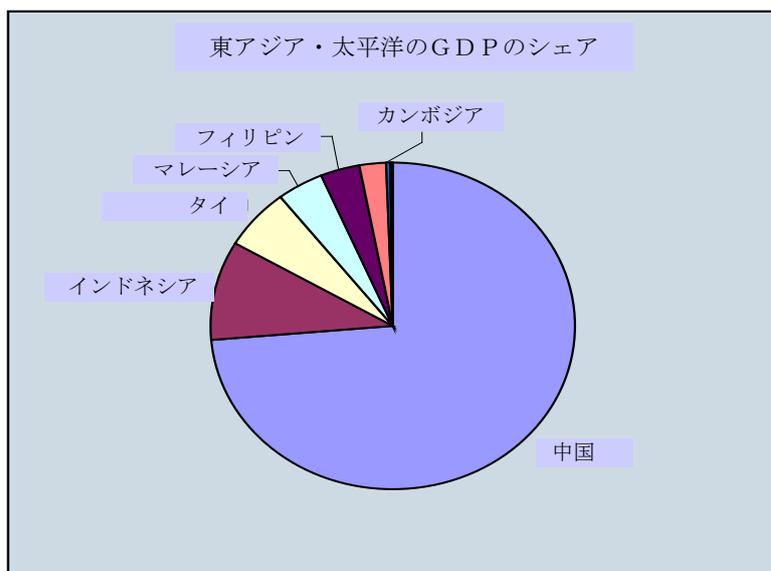
概観

10 の東アジア・太平洋諸国が、アジア開発銀行が調整を担当するアジア太平洋地域プログラムに参加した。アジア太平洋プログラムには、複数の高所得経済、南アジア経済、イランも含まれた。今回、中国が初めて I C P に参加した。（中国の過去の P P P は、1986 年の価格データをもとにした米国と中国の二国間比較に基づく。）インドの参加は 1985 年以來のことである。

以下に示す地域のすべての数値は、2005 年国際比較プログラムに参加した国だけを含む。

経済規模

世界経済に占める東アジア・太平洋経済の割合は、市場為替レートを用いて米ドルに換算した G D P に基づくと 7% であるのに対し、P P P に基づく G D P 数値で見ると 13% となる。中国は世界第 2 位の経済であり、世界の G D P の約 10%、地域経済の 4 分の 3 近くを占める。

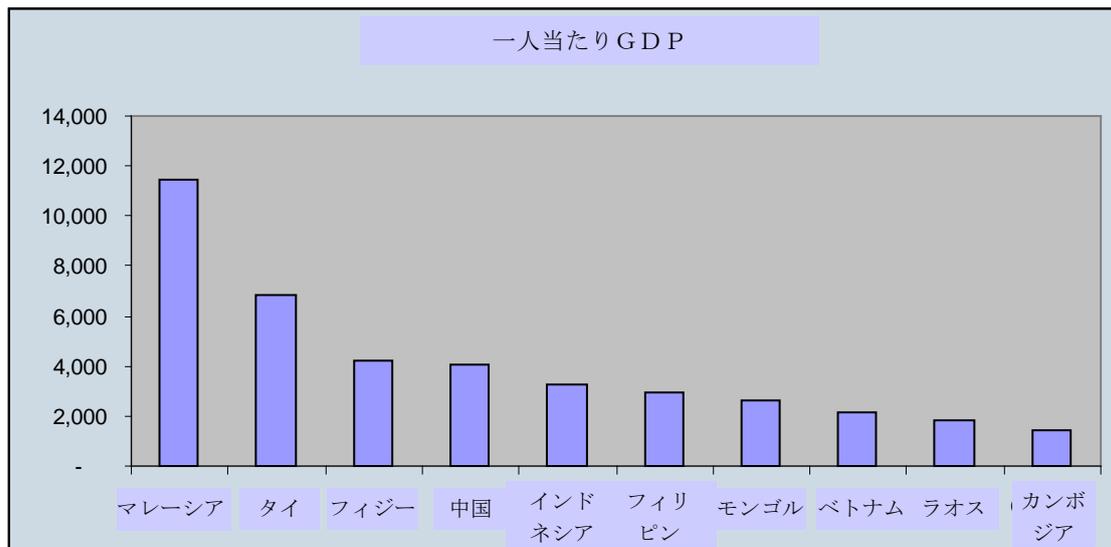


PPP 建て世界の GDP に占めるシェア (%)	
東アジア・太平洋	13.19
中国	9.70
インドネシア	1.29
タイ	0.81
マレーシア	0.54
フィリピン	0.45
ベトナム	0.32
カンボジア	0.04

ラオス	0.02
モンゴル	0.01
フィジー	0.01

生活水準

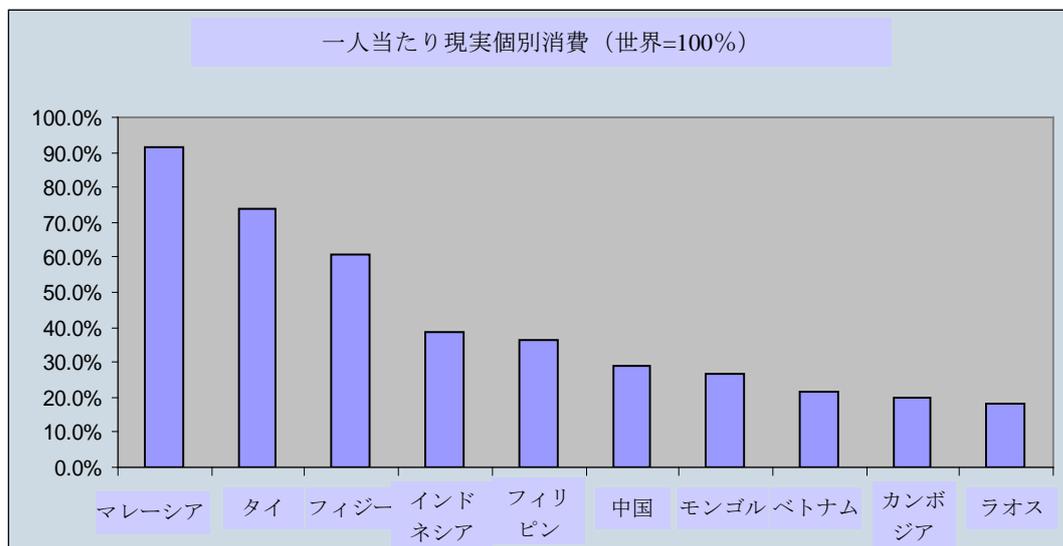
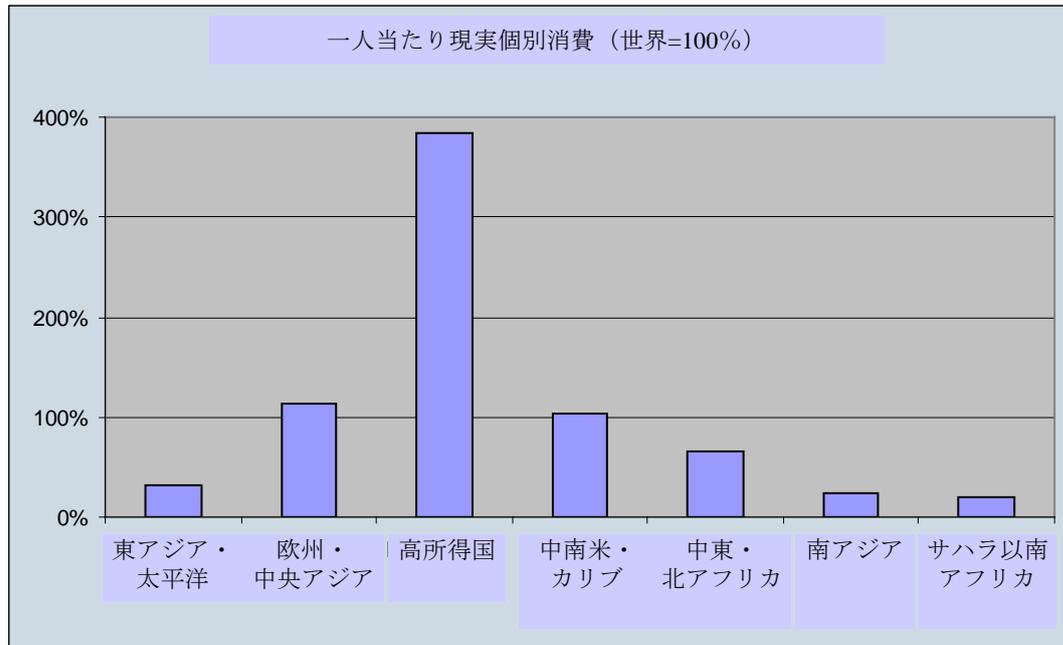
地域の一人当たりGDPはPPPに基づくと4,020ドルとなる。マレーシアとタイは世界平均を大きく上回るが、ラオスとカンボジアが取り残されており、その一人当たりGDPは地域平均の半分を下回る。



経済	PPP建て一人当たりGDP (ドル)
東アジア・太平洋	4,020
マレーシア	11,466
タイ	6,869
フィジー	4,208
中国	4,091
インドネシア	3,234
フィリピン	2,932
モンゴル	2,644
ベトナム	2,142
ラオス	1,811
カンボジア	1,453

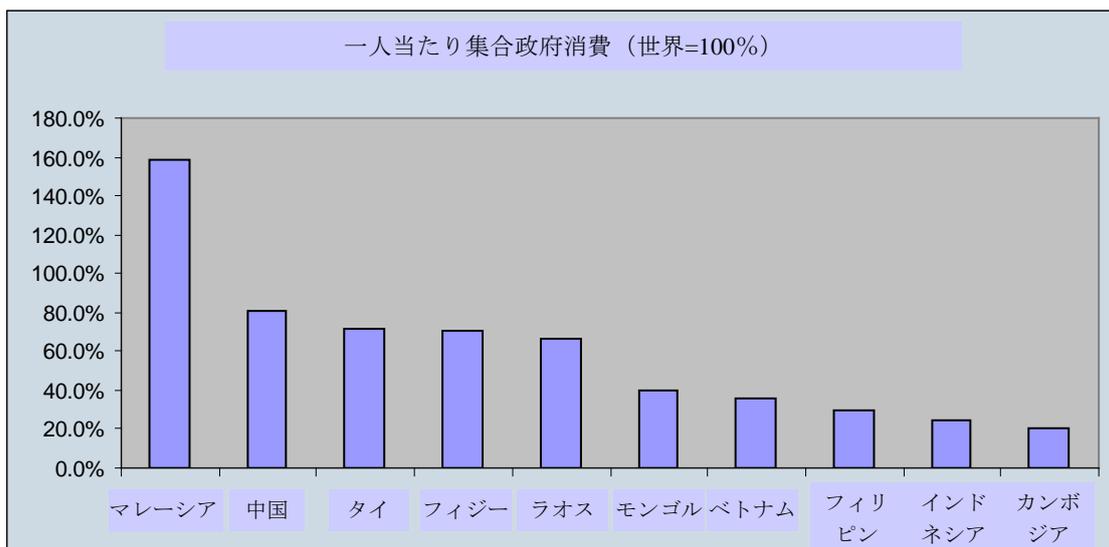
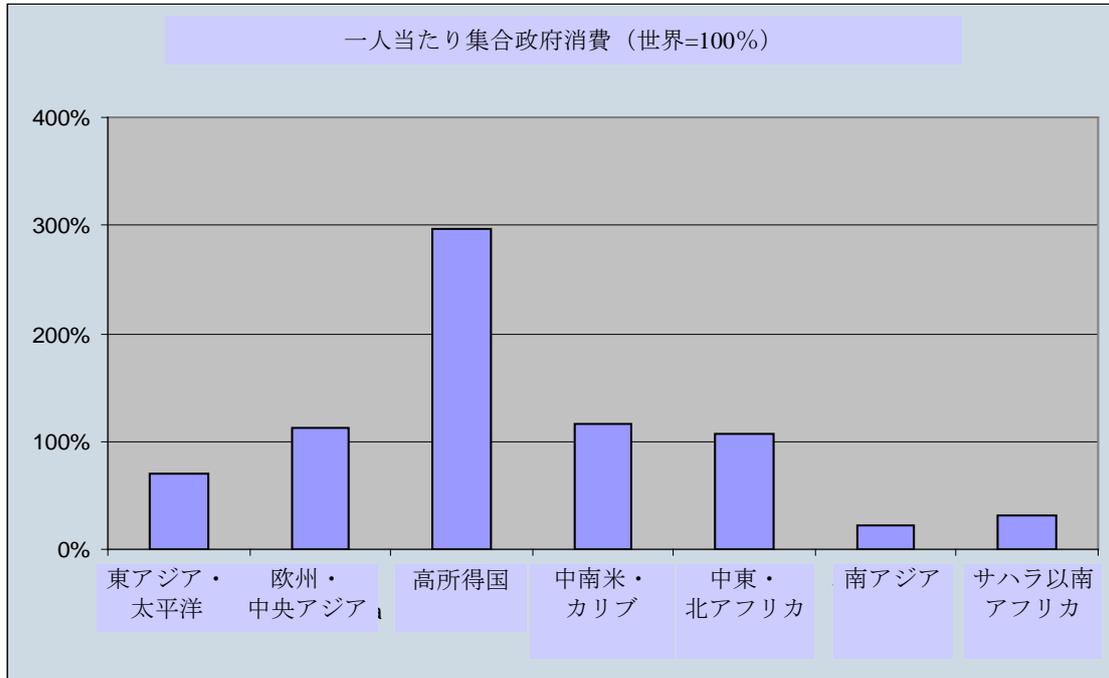
現実個別消費

現実個別消費は、家計最終消費支出、対家計非営利団体（NGOや慈善団体など）の支出、政府の個別消費財及びサービス（教育または保健など）に対する支出の合計値として測定される。東アジア・太平洋地域の一人当たり個別消費は、南アジアとサハラ以南アフリカに次いで低い。



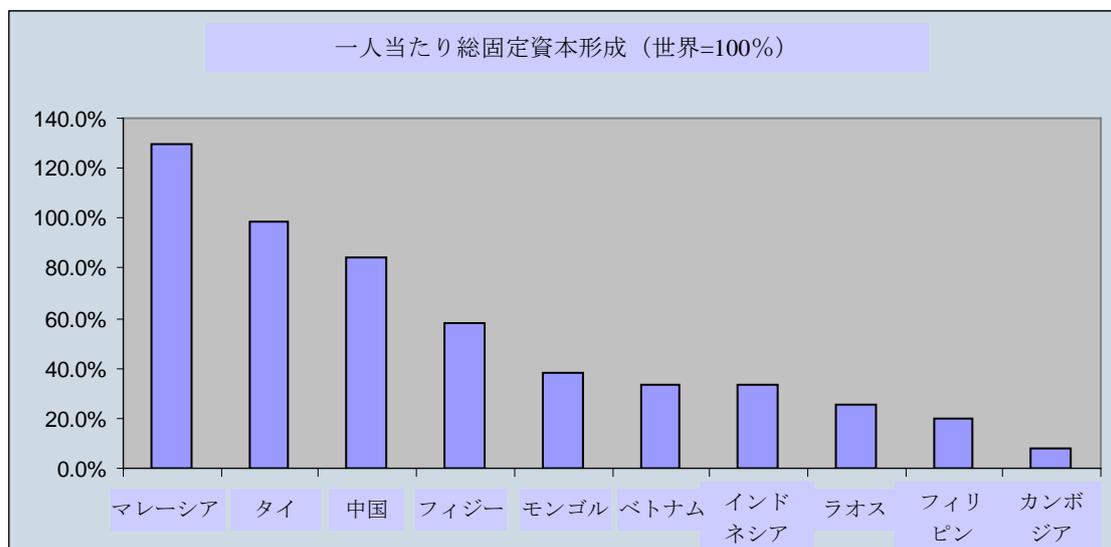
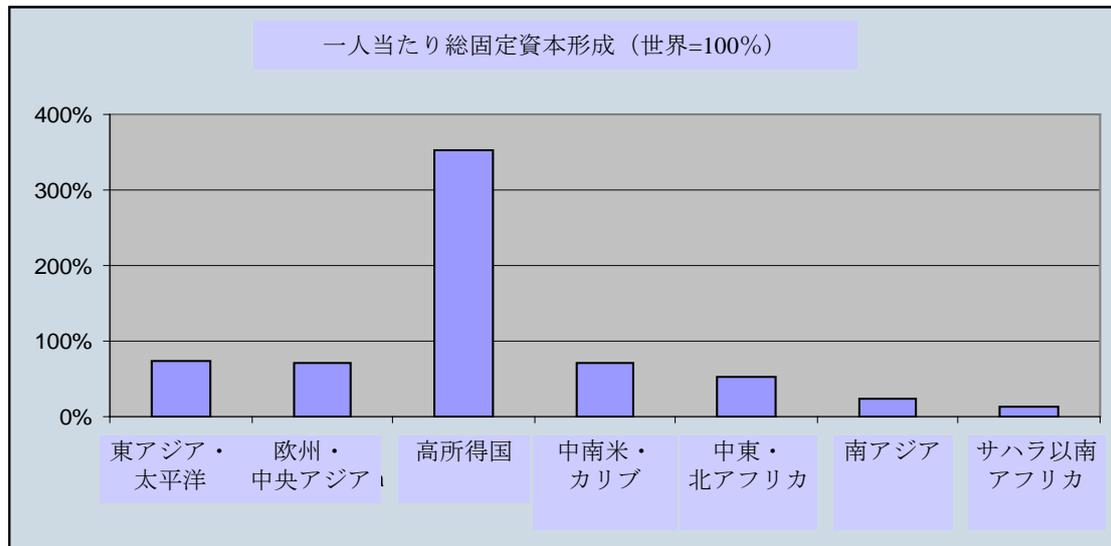
集合政府消費のPPPに基づく測定値

集合政府消費支出は国防、司法、一般行政、環境保護のような集合消費サービスに対して一般政府及び地方政府が行った支出で構成される。途上国においてこのようなサービスの価格がより低いことは、地域間における一人当たり集合政府消費の分散度を、一人当たりGDPについて観測されたものよりも小さくする傾向がある。



総固定資本形成のPPPに基づく測定値

総固定資本形成は国の投資支出を測定するが、これは大部分が設備と建設サービスの購入で構成される。東アジア・太平洋地域の一人当たり投資は欧州・中央アジア及び中南米・カリブに匹敵するが、一人当たりGDPと消費では、これらの地域にかなりの差をつけて引き離されている。

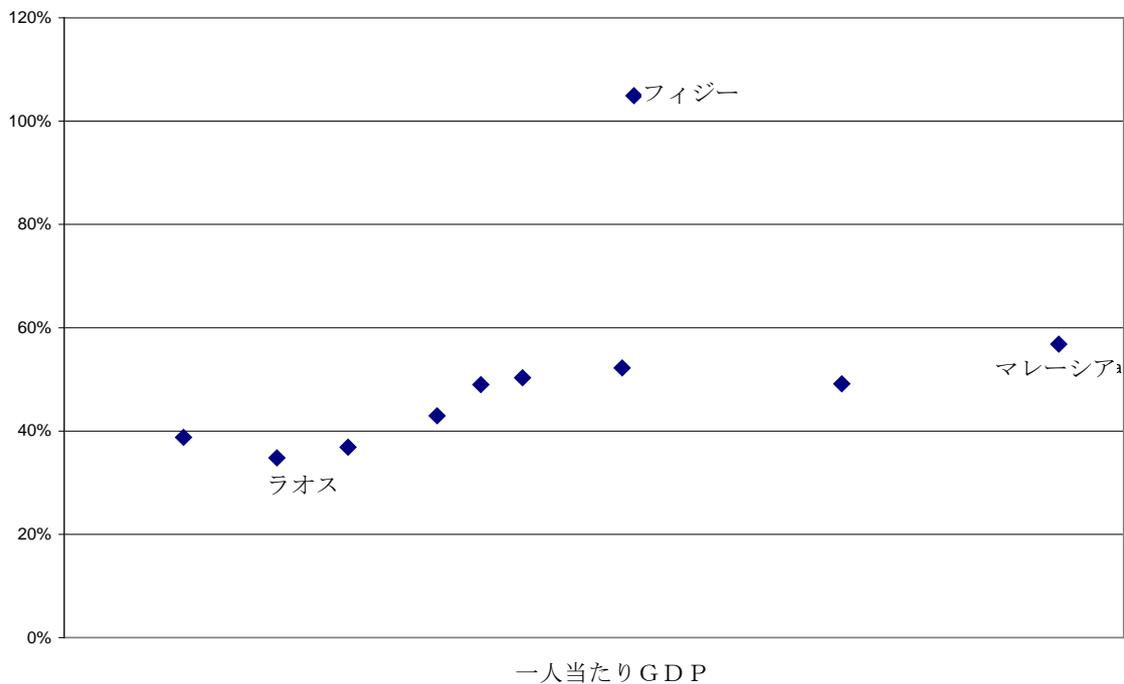


価格水準指数

価格水準指数（P L I）とは、標準通貨の市場為替レートに対するPPPの比率である。P L Iは価格水準の国際比較に用いられる。P L Iは、ある国のGDP（またはその構成要素）が現行為替レートで現地通貨を取得した後に「購入された」かのようにみなしてその相対価格を示す。一般に、最貧国のP L Iは低い。これは最貧国の財及びサービスの多く（ただし、すべてではない）が、自国の同種の生産物よりも相対的に安いことを発見する旅行者の一般的な体験を反映している。

一般に価格水準は一人当たりGDPと共に増加する。東アジア・太平洋ではラオスが最低価格である。最高価格はフィジーで、これにマレーシアが続く。

GDP 価格水準指数（世界=100）



2005年ICP地域別要約：南アジア

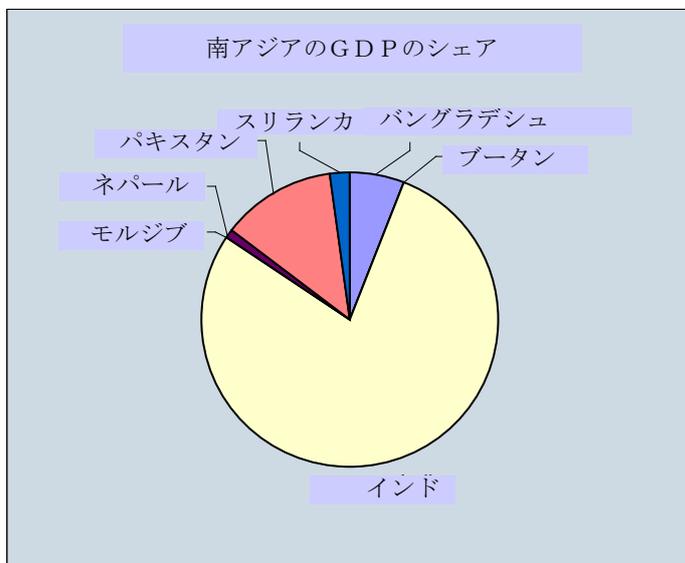
概観

南アジア（SAR）地域からは7カ国が2005年ICPに参加した。アジア太平洋のプログラムに参加した国はすべてアジア開発銀行が調整を図った。

以下に示す地域の数値はすべて、2005年国際比較プログラムに参加した国だけを含む。

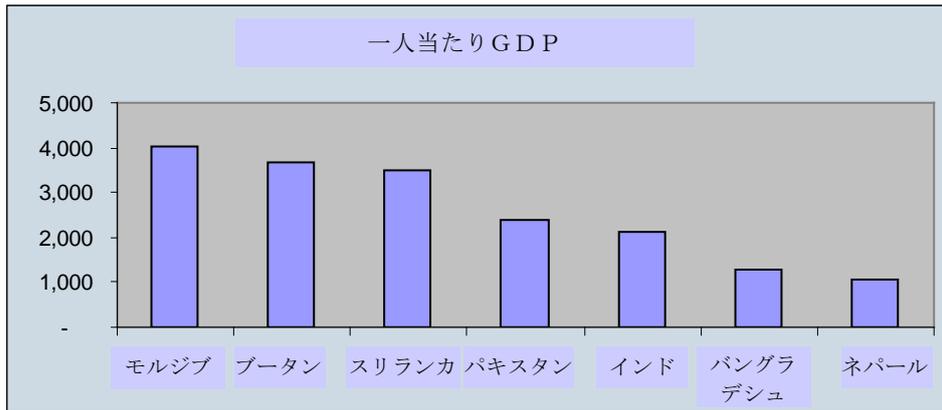
経済規模

世界経済に占める南アジア経済の割合は、市場為替レートを用いて米ドルに換算したGDPに基づく2%であるのに対し、PPPに基づくGDP数値で見ると5%となる。この地域は世界人口の23%を擁する。地域を支配するのはインドで、GDPの79%、人口の77%を占める。インド経済は世界第5位の規模であり、世界のGDPの5%を占める。



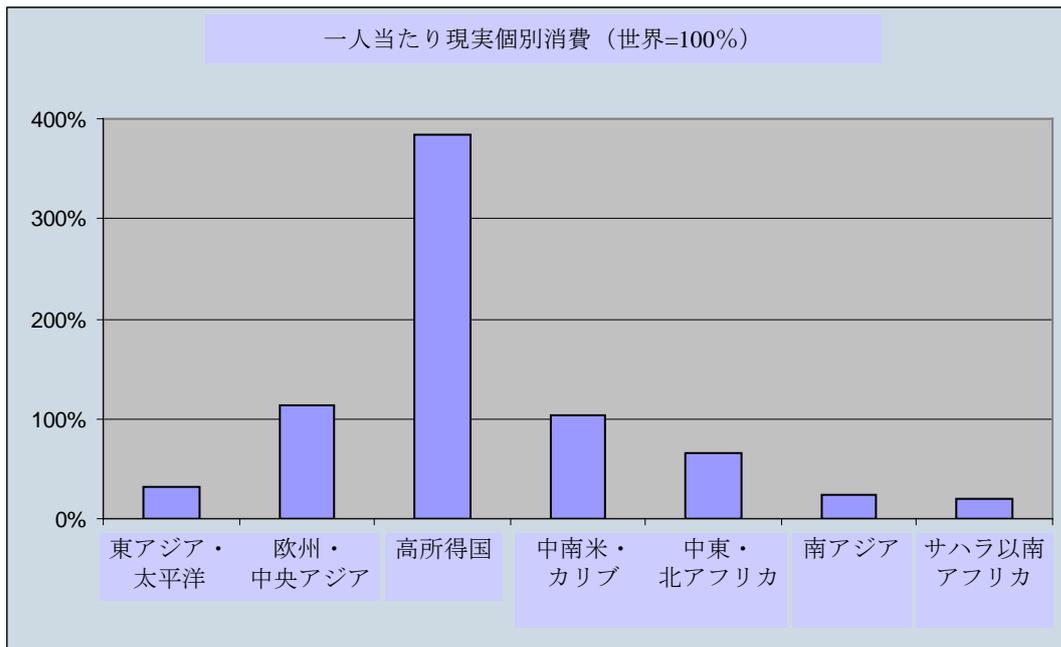
生活水準

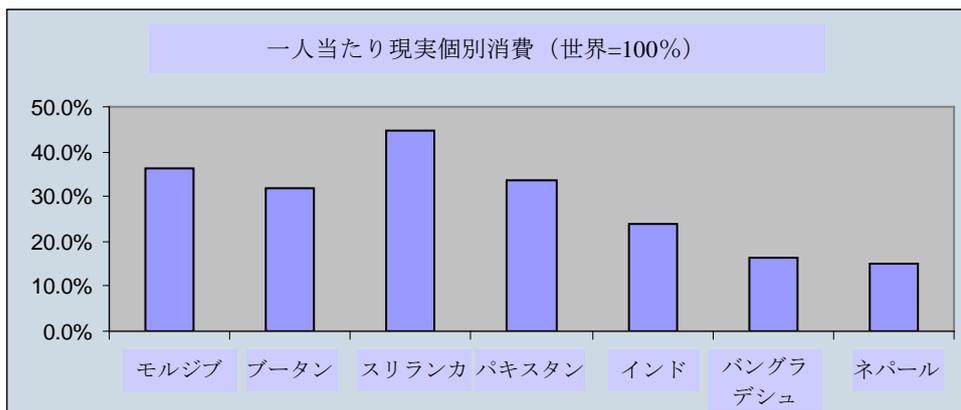
地域の一人当たりGDPはPPPに基づく2,074ドルとなる。一人当たりGDPが最も高いのはモルジブ、最も低いのはネパールである。



現実個別消費

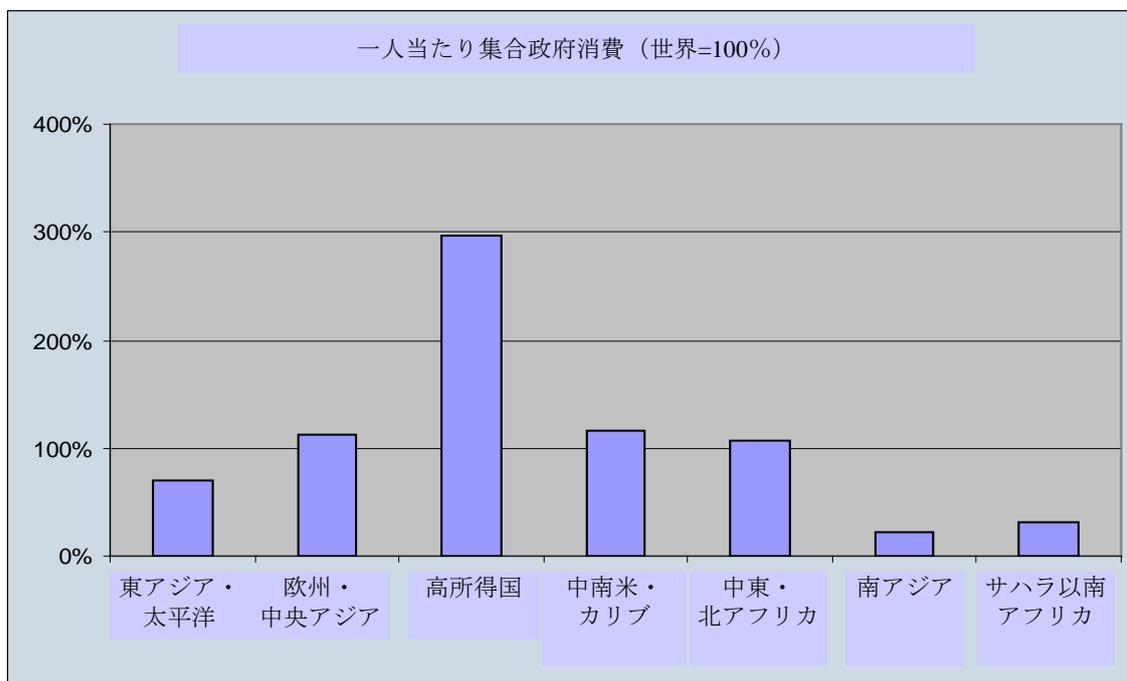
現実個別消費は、家計最終消費支出、対家計非営利団体（NGOや慈善団体など）の支出、政府の個別消費財及びサービス（教育または保健など）に対する支出の合計値として測定される。

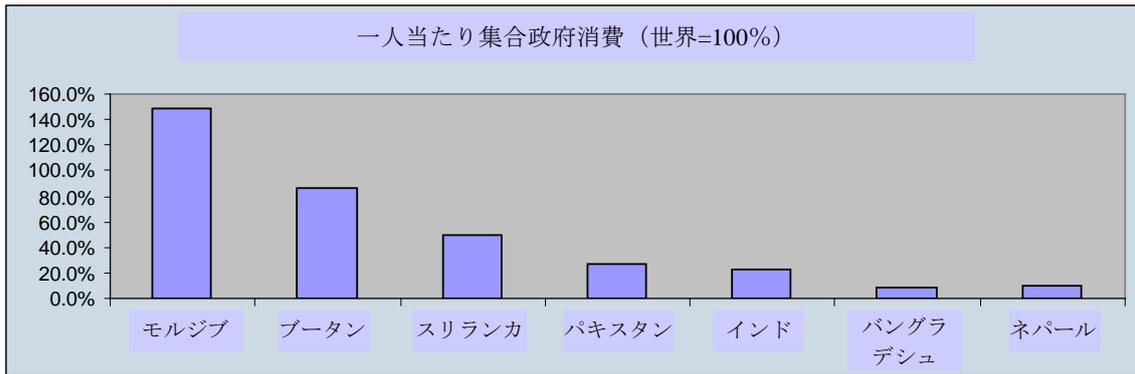




集合政府消費のPPPに基づく測定値

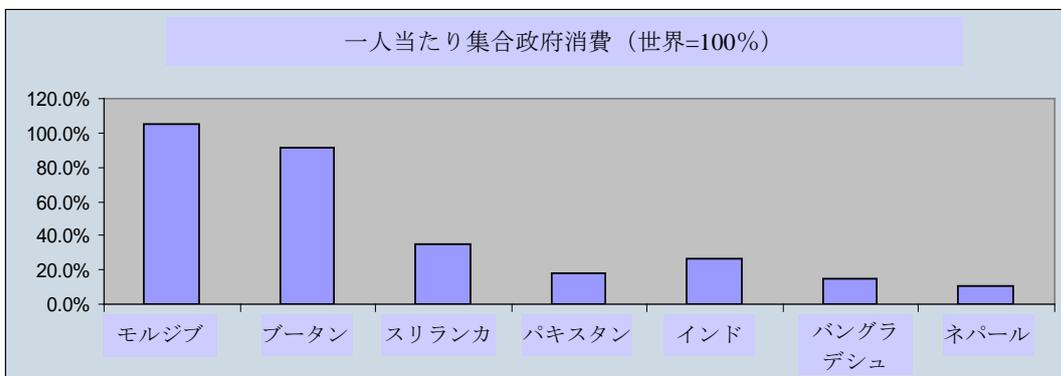
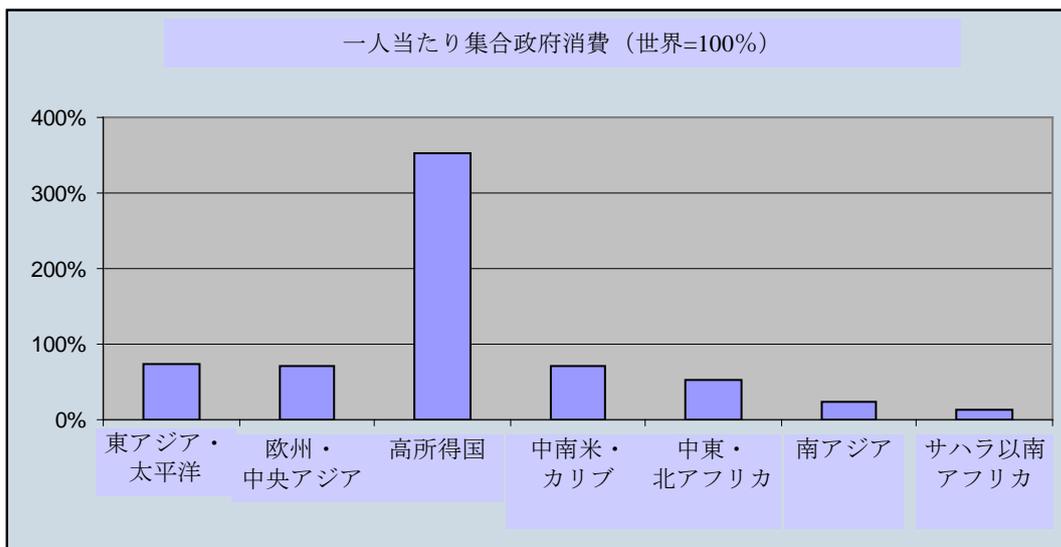
集合政府消費支出は国防、司法、一般行政、環境保護のような集合消費サービスに対して一般政府及び地方政府が行った支出で構成される。途上国においてこのようなサービスの価格がより低いことは、地域間における一人当たり集合政府消費の分散度を、一人当たりGDPについて観測されたものよりも小さくする傾向がある。各国の値は、モルジブにおける世界平均の1.5倍近くからバングラデシュ及びネパールにおける世界平均の約10分の1までの範囲にある。





総固定資本形成のPPPに基づく測定値

総固定資本形成は国の投資支出を測定するが、これは大部分が設備と建設サービスの購入で構成される。モルジブとブータンの総固定資本形成の水準はどちらもほぼ世界平均であるが、残りの諸国の水準はかなり低い。



価格水準指数

価格水準指数（P L I）とは、標準通貨の市場為替レートに対する P P P の比率である。P L I は価格水準の国際比較に用いられる。P L I は、ある国の G D P（またはその構成要素）が現行為替レートで現地通貨を取得した後に「購入された」かのようにみなしてその相対価格を示す。一般に、最貧国の P L I は低い。これは最貧国の財及びサービスの多く（ただし、すべてではない）が、自国の同種の生産物よりも相対的に安いことを発見する旅行者の一般的な体験を反映している。

モルジブを除くと、南アジア諸国の価格水準はすべて同じくらいである。

